

OLYMPUS

LINEAR PCM RECORDER

LS-P4

リニア PCM レコーダー

取扱説明書

準備

1

録音について

2

再生について

3

メニューについて

4

Bluetooth® について

5

パソコンでの活用について

6

資料

7

ファームアップによる追加・変更

8

ご購入いただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために」(P.171 ~ P.174) を必ずお読みください。

JP

ICレコーダーを活用しよう!

お買い上げいただきありがとうございます。
ICレコーダーの活用方法として一例をご紹介します。

状況に応じた録音設定があらかじめ登録されています。簡単な操作で最適な設定に切り替わります。あとは録音をスタートするだけです (P.45)。

楽器演奏を録音する (録音シーン:[音楽])

音楽CDを超える高音質で録音します。楽器演奏や野外録音など、臨場感を持たせた録音をする場合に適しています。



メモがわりに使う (録音シーン:[口述] [口述(騒音下)])

伝言やスケジュールの変更などをメモとして録音します。片手ですぐに録音できるので手帳に記入するより簡単です。



会議や講義を録音する (録音シーン:[会議] [講義])

大人数が出席する広い部屋での会議に適した録音設定になります。



ミュージック プレーヤー として

パソコンから本機の MUSIC フォルダに FLAC や WAV、MP3 フォーマットの音楽ファイルを転送して再生ができます (※ P.52、P.156)。

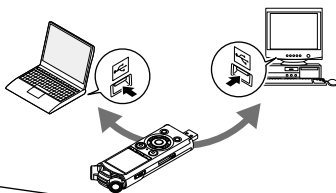


※ イヤホンは付属していません。

- デジタルだからファイルもすぐに見つかる。
▶▶||◀◀ ボタンを押すたびに各ファイルの先頭位置へスキップします。
- 重ね録りはしません。
次々と録音しても過去のファイルが上書きされて消えることはありません。

パソコンに直接接続

大容量 USB メモリとして使用可能。パソコン間における画像データなどの受け渡しに使用できます (※ P.153)。



自分のペースで スピード調整

長時間にわたる会議の内容確認には早聞き再生が、速くて聞き取りにくい外国語の発音は遅聞き再生が役立ちます (※ P.56)。

3.5 倍速

一定の音程で再生

標準再生

一定の音程で再生

0.5 倍速

一定の音程で再生



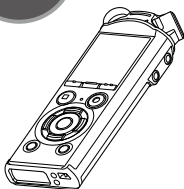
ご注意

- お買い上げ時の電池は十分に充電されていません。録音の前には必ず充電してください (※ P.26)。

スタートガイド

そろって
いますか？

箱の中身を確認しましょう



本体



単4形ニッケル水素充電電池
(BR404) (1本)

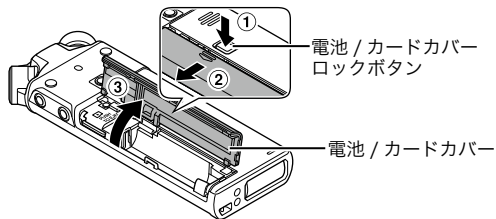


三脚アダプタ
(TR2)

取扱説明書 (保証書付)

電池を入れましょう

- 1 電池 / カードカバーロックボタンを押しながら、
電池 / カードカバーをスライドさせて開ける

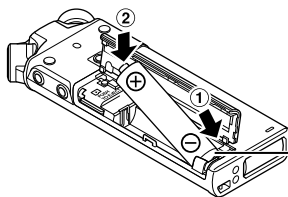


シリアルナンバーについて

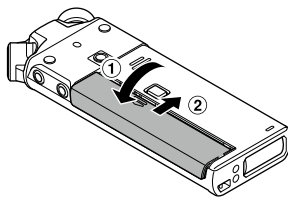
シリアルナンバーは本機の電池室内に記載されているほか、**[システム情報]**からも確認ができます (P.142)。巻末の保証書に書き写してください。

準備

1

2 単4形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる

マイナス側を
先に入れます。

3 電池 / カードカバーを完全に閉める**ご注意**

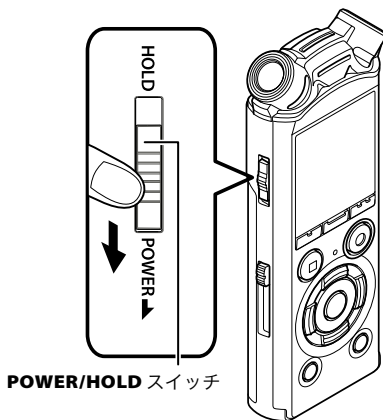
- 電池 / カードカバーのロックがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

準備

2

電源を入れましょう

- 1 POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる



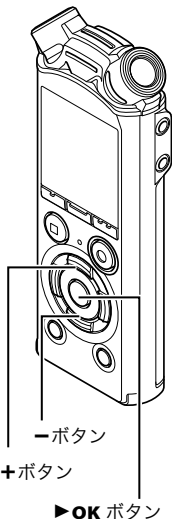
電源を切るには

- 電源を切るときは POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせてください。

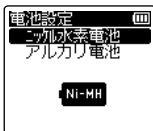
準備

3

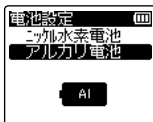
電池の種類を設定しましょう



- 1** +または−ボタンを押して電池の種類を選ぶ



【ニッケル水素電池】：
付属のオリンパス製
ニッケル水素充電電池
(BR404)を入れた場合。



【アルカリ電池】：
市販のアルカリ乾電池
を入れた場合。

- 2** ▶OKボタンを押して設定を確定する

ヒント

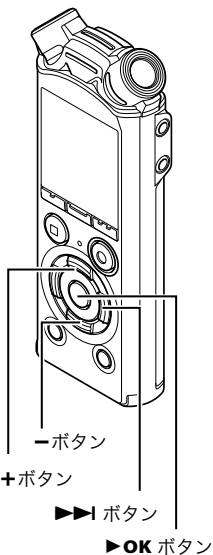
- メニュー操作でも同様に切り替えができます (P.133)。

準備

4

日時を合わせましょう

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。

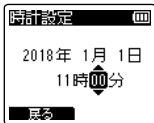


- 1** +または−ボタンを押して [時] を選ぶ

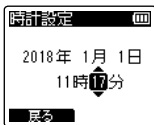


この画面が表示されない場合は「日付・時刻を合わせる [時計設定]」をご覧ください (P.134)。

- 2** >>> ボタンを押して次へ進む

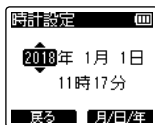


- 3** +または−ボタンを押して [分] を選ぶ



準備
4

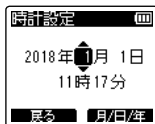
- 4 ▶▶I ボタンを押して次へ進む



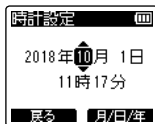
- ・ ◀◀ ボタンを押すと1つ前の項目に戻ります。

- 5 + または - ボタンを押して [年] を選ぶ

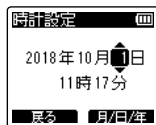
- 6 ▶▶I ボタンを押して次へ進む



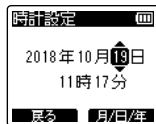
- 7 + または - ボタンを押して [月] を選ぶ



- 8 ▶▶I ボタンを押して次へ進む



- 9 + または - ボタンを押して [日] を選ぶ



- 10 ▶OK ボタンを押すと時計が動き始めます

ヒント

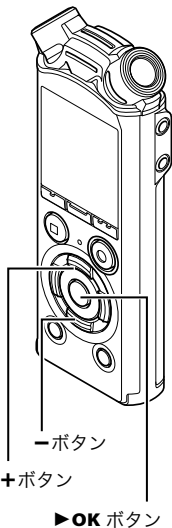
- ・ 設定の途中に ▶OK ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- ・ 本機の時計表記は 24 時間制です。

準備

5

音声ガイドを設定しましょう

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。



- 1** +または-ボタンを押して **[ON]**
または **[OFF]** を選ぶ

**[ON] :**

音声ガイドが機能します。

**[OFF] :**

音声ガイドは機能しません。

- 2** ▶OK ボタンを押して設定を確認する

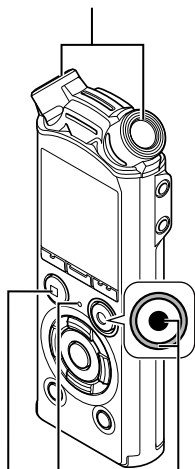
ヒント

- メニュー操作でも同様に切り替えができます (※ P.127)。音声ガイドは **[ON/OFF]**、**[スピード]**、**[音量]** の設定ができます。

Step
1

録音してみましょう

内蔵ステレオマイク
(録音したい方向へ
向けます)



PEAK 表示
ランプ

STOP (■)
ボタン

REC (●)ボタン
録音表示ランプ

- 1 ホーム画面で▶▶または◀◀ボタンを押して【レコーダー】を選ぶ



ホーム画面

- ・ 停止中に F1 (ホーム) ボタンを押すと、
【ホーム】画面を呼び出せます
(※ P.36)。

- 2 REC (●) ボタンを押して録音待機状態にする

- ・ 録音表示ランプが点滅し、ディスプレイに【●||一時停止】が点滅します。
- ・ 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。

- 3 ▶▶または◀◀ボタンを押して録音レベルを調整する



録音レベル

レベルメーター

- ・ 録音レベルは 30 段階で調整できます。

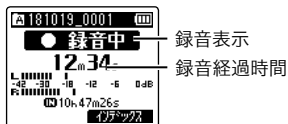
Step
1

- ・ レベルメーターを確認しながら、メーターが振り切れないように調節してください。

ご注意

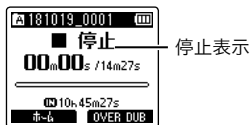
- ・ レベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。

4 REC (●) ボタンを押して録音を開始する



- ・ 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイに [● 録音中] が点灯します。

5 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する

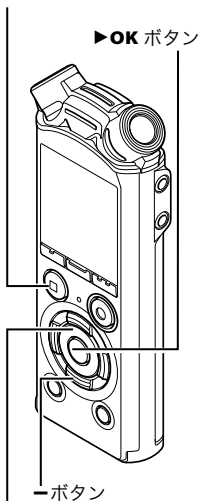


- ・ 録音したファイルの保存先は、録音する前に指定することができます (P.40)。初期設定は [A フォルダ] になっています。

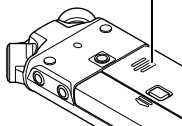
Step
2

録音したファイルを
聞いてみましょう

STOP (■) ボタン



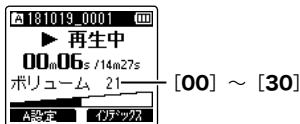
内蔵スピーカ



- 1 ▶OK ボタンを押して再生を開始する



- 2 +または−ボタンを押して聞きやすい音量にする



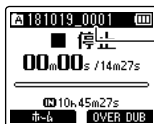
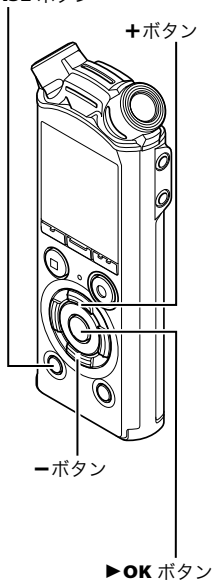
- 3 STOP (■) ボタンを押して再生を停止する

Step
3

聞いたファイルを
消してみましょ

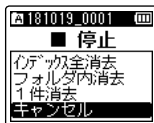
録音および再生を停止させてから行ってください。

ERASE ボタン



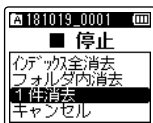
このファイル名のファイルが消去されます。

1 ERASE ボタンを押す



Step
3

- ② + または - ボタンを押して、[フォルダ内消去] または [1 件消去] を選ぶ



[インデックス全消去]:

インデックスをまとめて消去します (※ P.61)。

[フォルダ内消去]:

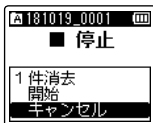
選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。

[1 件消去]:

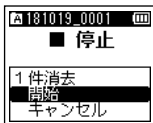
選択したファイルを消去します。

- ◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- ③ ▶ OK ボタンを押す



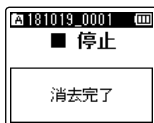
- ④ + ボタンを押して [開始] を選ぶ



Step

3

5 ▶ OK ボタンを押す



2 ICレコーダーを活用しよう！

スタートガイド

- 5 電池を入れましょう
- 7 電源を入れましょう
- 8 電池の種類を設定しましょう
- 9 日時を合わせましょう
- 11 音声ガイドを設定しましょう
- 12 録音してみましょう
- 14 録音したファイルを聞いてみましょう
- 15 聞いたファイルを消してみましょ

1 準備

- 21 各部のなまえ
 - 21 レコーダー
 - 23 ディスプレイ
- 26 充電する
 - 26 パソコンの USB 端子に接続して充電する
 - 28 USB 接続 AC アダプタ (別売 A514) に接続して充電する
- 30 電池について
- 32 microSD カードを入れる／取り出す
 - 32 microSD カードを入れる
 - 33 microSD カードを取り出す
- 34 誤操作を防止する
 - 34 ホールドにする
 - 34 ホールドを解除する
- 35 電源を切る
- 36 【ホーム】画面の操作
 - 36 モードを選択する
- 37 フォルダとファイルの選びかた
- 38 三脚アダプタ (TR2) の取り付け

2 録音について

- 40 録音する
 - 40 基本的な録音のしかた
 - 43 録音を一時停止する／再開する
 - 43 録音内容をすばやく確認するには
 - 44 録音中の音声を聞くには
- 45 おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】
 - 45 録音シーンの選びかた
- 48 オーバーダビング録音をする
 - 48 オーバーダビングするファイルを選んで録音する
- 50 外部マイクを使って録音する
 - 50 外部マイクで録音する
- 51 他の機器と接続して録音する
 - 51 他の機器の音声を本機で録音する
 - 51 本機の音声を他の機器で録音する

3 再生について

- 52 再生する
 - 52 基本的な再生のしかた
 - 53 早送りをするには
 - 53 早戻しをするには
 - 54 ファイルの頭出しをするには
 - 55 イヤホンで聞くには
- 56 再生スピードを変更する
- 57 ABC リピート再生をする
- 60 インデックスマーク・テンプマークについて
 - 60 インデックスマーク・テンプマークを付ける
 - 61 インデックスマーク・テンプマークを消去する
 - 61 インデックスマークをまとめて消去する
- 63 カレンダー検索機能を使う
 - 63 録音した日付でファイルを探す

64 消去する

- 64 ファイルを消去する
- 65 フォルダを消去する

4 メニューについて

66 メニュー設定のしかた

- 66 基本的な操作のしかた

68 メニューの一覧

74 ファイルメニュー [ファイル設定]

- 74 ファイルの音声部分を抽出する
[声だけ抽出]
- 77 ファイルの誤消去を防止する
[ファイルロック]
- 78 ファイルを並べ替える [並び替え]
- 80 ファイルを移動/コピーする
[ファイル移動/コピー]
- 83 ファイルを分割する [ファイル分割]
- 85 ファイルの一部を消去する [部分消去]
- 87 ファイルの必要な部分だけを残す
[トリミング]
- 89 ファイルの音量レベルを全体的に上げる
[ノーマライズ]
- 91 ファイルの最初と最後をフェードイン・
フェードアウトする [フェードイン・アウト]
- 92 ファイルやフォルダの情報を見る
[プロバティ]

94 録音メニュー [録音設定]

- 94 録音感度を選択する [録音レベル]
- 96 過大入力時の音割れを抑える [リミッター]
- 98 録音モードを設定する [録音モード]
- 100 マイクの指向性を選択する [ズームマイク]
- 102 ノイズを軽減して録音する
[ローカットフィルタ]
- 103 3 マイクモードで録音する [マイク選択]
- 104 音声起動録音機能を使う [VCVA]
- 107 音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

109 再生メニュー [再生設定]

- 109 非音声部分をスキップして再生する
[声だけ再生]
 - 111 ノイズを軽減して再生する
[ノイズキャンセル]
 - 113 小さい音を補正して再生する
[ボイスバランサー]
 - 115 再生モードを選択する [再生モード]
 - 118 音楽の音質を変える [イコライザー]
 - 120 スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]
- ### 122 表示/音メニュー [表示/音設定]
- 122 バックライトを設定する [バックライト]
 - 123 コントラストを調整する [コントラスト]
 - 124 LED 表示ランプを設定する [LED]
 - 125 操作音を設定する [操作音]
 - 126 表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]
 - 127 音声ガイドを設定する [音声ガイド]
 - 129 ファイルの先頭部分を数秒間再生する
[イントロ再生]
 - 130 スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]

131 本体メニュー [本体設定]

- 131 記録メディアを選択する [メモリ選択]
- 132 省電力モードを設定する [スリープ]
- 133 使用する電池を設定する [電池設定]
- 134 日付・時刻を合わせる [時計設定]
- 135 Bluetooth® 機器を接続する
[Bluetooth 設定]
- 136 USB 接続を設定する [USB 設定]
- 138 設定をリセットする [設定リセット]
- 139 記録メディアを初期化する [初期化]
- 141 記録メディアの情報を確認する
[メモリ情報]
- 142 本機の情報を確認する [システム情報]

5 Bluetooth® について

143 Bluetooth® 機能をご使用になる前に

145 OLYMPUS Audio Controller BT について

146 Bluetooth® 機器を接続する/ 切断する

146 Bluetooth® 機器を接続する

150 Bluetooth® 機器の接続を切断する

6 パソコンでの活用について

151 パソコンの動作環境

153 パソコンに接続する/取り外す

153 パソコンに接続する

155 パソコンから取り外す

156 ファイルを転送する

7 資料

158 活用のヒント

160 警告表示一覧

162 故障かな?と思ったら

166 お手入れ

167 アクセサリー (別売)

168 商標について

171 安全に正しくお使いいただくために

175 主な仕様

181 索引

本書の表記について

ご注意

本機をご使用になる際の注意事項や絶対に避けていただきたい操作などが書かれています。

ヒント

知っておくと便利なことや役立つ情報などが書かれています。

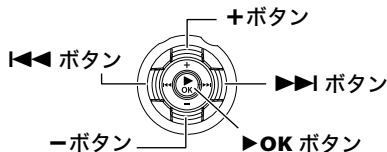
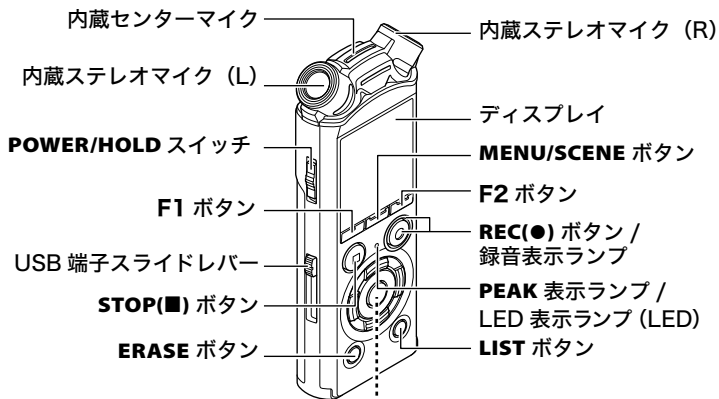


本書での参照先のページを表します。

準備

各部のなまえ

レコーダー



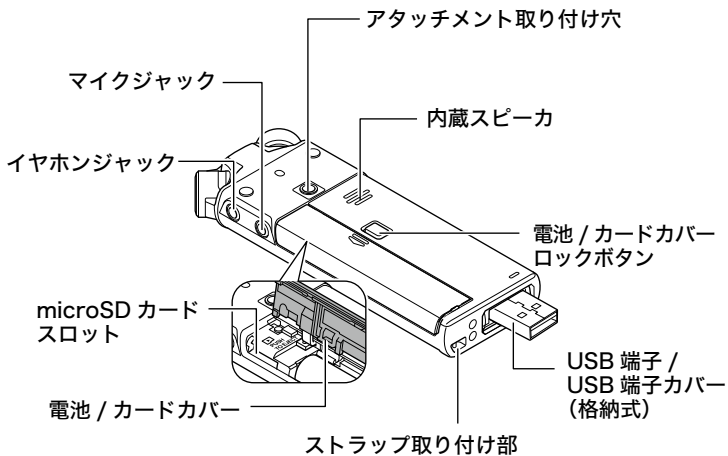
1

各部のなまえ

レコーダー

1

各部のなまえ



ディスプレイ

■ [レコーダー] モード:

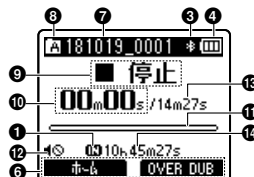
フォルダリスト表示



ファイルリスト表示



ファイル表示



- ① 記録メディア表示
 [N] : 内蔵メモリ
 [D] : microSD カード
- ② 現在のフォルダ名
- ③ Bluetooth® 表示
- ④ 電池表示
- ⑤ フォルダ名
- ⑥ ファンクションボタンガイド表示
- ⑦ ファイル名
 [▶] : 再生表示
 [□] : 声だけ抽出
 [🔒] : ファイルロック
- ⑧ フォルダ表示

- ⑨ 本機の動作状態
 [○] : 録音表示
 [◐] : 録音一時停止表示
 [■] : 停止表示
 [▶] : 再生表示
 [▶▶] : 早聞き再生表示
 [▶▶▶] : 遅聞き再生表示
 [▶▶▶▶] : 早送り表示
 [◀◀] : 早戻し表示
- ⑩ 録音経過時間 (録音時)、再生経過時間 (再生時)
- ⑪ レベルメーター (録音時)、再生位置バー表示 (再生時)
- ⑫ スピーカ出力停止 (🔇)
- ⑬ ファイルの長さ
- ⑭ 録音可能な残り時間

ディスプレイ

1

■ [ミュージック] モード:

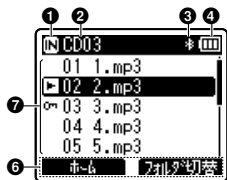
各部のなまえ

リスト表示 ①



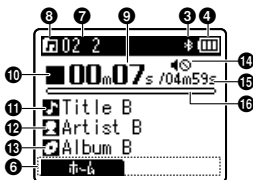
フォルダ内にファイルと
フォルダがある場合

リスト表示 ②



フォルダ内にファイル
のみがある場合

ファイル表示



① 記録メディア表示

- [IN] : 内蔵メモリ
- [SD] : microSD カード

② 現在のフォルダ名

③ Bluetooth® 表示

④ 電池表示

⑤ フォルダ名、ファイル名

⑥ ファンクションボタンガイド表示

⑦ ファイル名

- [▶] : 再生表示
- [🔒] : ファイルロック

⑧ フォルダ表示

⑨ 再生経過時間

⑩ 本機の動作状態

- [■] : 停止表示
- [▶] : 再生表示
- [▶▶] : 早聞き再生表示
- [▶▶▶] : 遅聞き再生表示
- [▶▶▶▶] : 早送り表示
- [◀◀] : 早戻し表示

⑪ タイトル名

⑫ アーティスト名

⑬ アルバム名

⑭ スピーカ出力停止 (🔇)

⑮ ファイルの長さ

⑯ 再生位置バー表示

ディスプレイ

ヒント

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると **[現在日時]** や **[メモリ残量]** (録音可能な残り時間) を確認できます。現在日時が合っていない場合、**「日付・時刻を合わせる【時計設定】」** (※ P.134) をご覧ください。



- 1 現在日時
- 2 記録メディア表示
- 3 録音モード
- 4 アイコン表示部

[マイク] : 録音シーン
[OFF] : ノイズキャンセル
[OFF] : ボイスバランサー
[OFF] : ランダム再生
[再生] : 再生範囲
[再生] : リピート再生
[USER] : イコライザー
[再生] : 声だけ再生
[M] : 録音レベル
[VCVA] : VCVA
[SYNC] : 音声同期録音

[OFF] : ローカットフィルタ
[マイク] : ズームマイク
[マイク] : マイク選択
[LIMIT] : リミッター
[再生] : 声だけ抽出

- 5 電池表示
[Ni] : ニッケル水素充電電池
[Al] : アルカリ乾電池
- 6 録音可能残り時間
- 7 使用メディアの残り容量


充電する

パソコンの USB 端子に接続して充電する

1

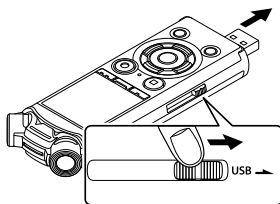
充電する

ご確認

- 充電の際は付属の充電電池を入れ【電池設定】の設定を【ニッケル水素電池】にしてください (P.5、P.8)。
- アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。
- 電池表示 (P.30) が  に変わったら、電池残量が残りわずかです。充電するか、新しい電池に交換してください。

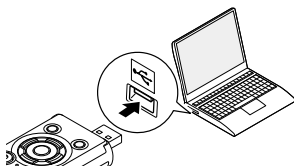
1 パソコンを起動する

2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせる

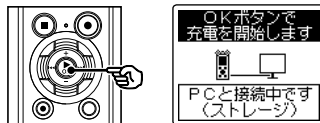


- USB 端子を引き出します。USB 端子カバーは本機内に格納されます。

3 本機が停止しているのを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



4 ▶OK ボタンを押して充電を開始する



- 【電池設定】 (P.133) の設定が【ニッケル水素電池】になっている場合は、【OK ボタンで充電を開始します】と表示されます。この表示が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。

- 5 電池表示が  になったら充電は終了です




充電時間: 約 3 時間 *

- * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

USB 接続 AC アダプタ (別売 A514) に接続して充電する

ご確認

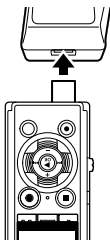
- AC アダプタを接続する前に USB 接続設定を [AC アダプタ接続] に切り替えてください (※ P.136)。
- 充電の際は付属の充電電池を入れ [電池設定] の設定を [ニッケル水素電池] にしてください (※ P.5、P.8)。
- 電池表示 (※ P.30) が  に変わったら、電池残量が残りがずかです。充電するか、新しい電池に交換してください。

ご注意

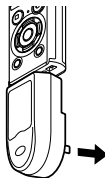
- オリンパス製 USB 接続 AC アダプタ (A514) 以外の AC アダプタを使用しないでください。

1 本機を AC アダプタの USB 端子に接続する

USB 接続 AC アダプタ (A514) の USB 端子へ

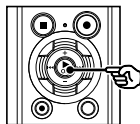


2 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する



家庭用電源
コンセントへ

3 ▶OK ボタンを押して充電を開始する



- [電池設定] (※ P.133) の設定が [ニッケル水素電池] になっている場合は、[OK ボタンで充電を開始します] と表示されます。この表示が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。

4 [充電完了] と表示されたら 充電は終了です

電源オフで充電した
場合



充電完了表示

電源オンで充電
した場合



- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- [USB 設定] の設定を [コンボジット] にして充電する場合は、[USB 接続] の設定を [毎回確認] にして接続してください。[USB 接続] の設定で [AC アダプタ接続] を選ぶと、充電できるようになります (※ P.136)。

ご注意

- パソコンの電源が入っているときに USB 接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
- [C1] *1 または [C2] *2 が点滅している場合は充電できません。周囲の温度が 5 ~ 35°C の環境で充電してください。
 - *1 [C1] : 周囲の温度が低い場合
 - *2 [C2] : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

電池について



1

電池について

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



-  が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、 と **「電池残量がありません」** が表示され、動作が停止します。

充電電池について

ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電電池は化学製品です。推奨温度範囲で使用する場合にも充電電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0～42℃

充電：5～35℃

長期保管：-20～30℃

上記の温度範囲外での充電電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電電池を取り外して保管してください。

■ 処分について


充電電池は関係する法令に従って処分してください。充電電池を完全に放電しないで処分するときは、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

ご注意

- ニッケル水素充電電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1か月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充放電を2、3回繰り返してください。
- 充電電池をお買い求めの際は、必ずニッケル水素充電電池 BR404 をお選びください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池は劣化により電池持続時間が短くなります (※ P.177)。

電池についてのご注意

- マンガン電池は本機で使用できません。
- 電池を交換する際は、必ず本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 本機から電池を抜くと、電源を入れたとき自動的に **「時計設定」** 画面が表示されます。詳しくは「**日付・時刻を合わせる[時計設定]**」(※ P.134) をご覧ください。
- 本機を長期間ご使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。

- 電池交換の際は、単 4 形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電電池 BR404 をご使用ください。
- 電池表示が  であっても内蔵スピーカーで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてください。
- 内蔵メモリご使用時と microSD カードご使用時では電池表示が異なることがあります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間が短くなります (☞ P.177)。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します (☞ P.177)。
- 電池を交換したときは自動的に **〔電池設定〕** 画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます (☞ P.133)。

microSD カードを入れる／取り出す

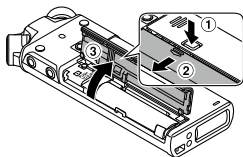
内蔵メモリのほかに市販の microSD カード (microSD、microSDHC) をご使用になれます。

1

microSD カードを入れる

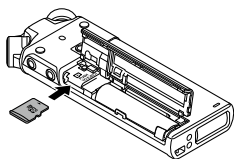
microSD カードを入れる／取り出す

- 1 停止中に電池 / カードカバーロックボタンを押しながら、電池 / カードカバーをスライドさせて開ける



- microSD カードスロットは電池 / カードカバー内にあります。

- 2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

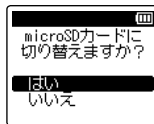
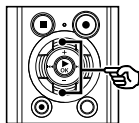


- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- カチッと音がする位置まで microSD カードが挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

- 3 電池 / カードカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

- 4 microSD カードに記録する場合、+または-ボタンを押して【はい】を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

ヒント

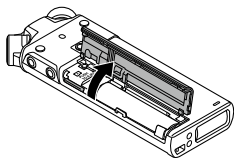
- 記録メディアを内蔵メモリに切り替えることもできます (P.131)。

ご注意

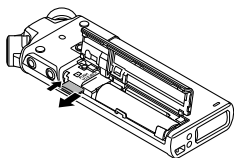
- パソコンなど他の機器でフォーマット (初期化) した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください (P.139)。

microSD カードを取り出す

1 停止中に電池 / カードカバーを開ける



2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- **【メモリ選択】** の設定を **【microSD カード】** にしていた場合、**【内蔵メモリに切り替えました】** と表示されます。

3 電池 / カードカバーを閉じる

ご注意

- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押しした指をすぐに離したり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カード、microSDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済の microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。
ホームページでは、当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、microSD カードは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください (P.139)。

誤操作を防止する

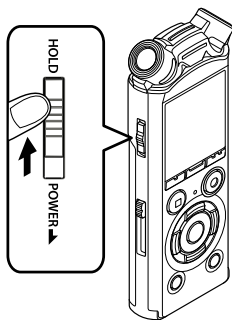
ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

1

誤操作を防止する

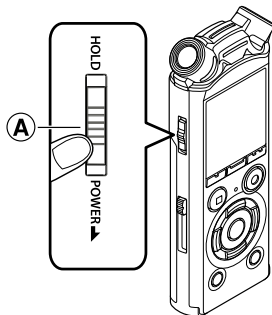
ホールドにする

- 1 **POWER/HOLD** スイッチを [HOLD] の位置にスライドさせる



ホールドを解除する

- 1 **POWER/HOLD** スイッチを **(A)** の位置にスライドさせる



- ディスプレイに [ホールド] が表示され、ホールド状態になります。

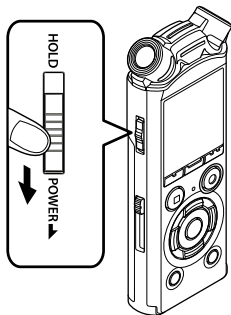
ご注意

- ホールドの状態ですぐのボタンを押すと、[ホールド] 表示が2秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなるなどで録音が終了すると停止状態になります）。

電源を切る

電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

- 1 POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる**



- 電源を切る前の再生停止位置が記憶されています。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

スリープモードについて

電源を入れて 10 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的にスリープ（省電力）モードに切り替わります（[P.132](#)）。

- いずれかのボタンを押すとスリープモードは解除されます。

1

電源を切る

【ホーム】画面の操作

モードを選択する

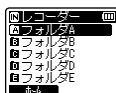
1

ICレコーダーとしてお使いいただけるほか、ミュージックプレーヤーとしてもお楽しみいただけます。用途に合わせてモードを選択してください。

- 1** 停止中に **F1 (ホーム)** ボタンを押して **【ホーム】** 画面にする

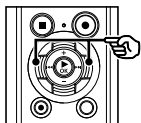


- 【レコーダー】** を選んだ場合:



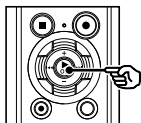
【レコーダー】 モードに切り替わり、内蔵マイクを使って録音できます。また、マイクから録音したファイルを再生できます (※ P.40、P.52)。

- 2** **▶▶** または **◀◀** ボタンを押してモードを選ぶ



【ミュージック】 モードに切り替わり、本機に転送した音楽ファイルを再生できます (※ P.52)。

- 3** **▶** **OK** ボタンを押す



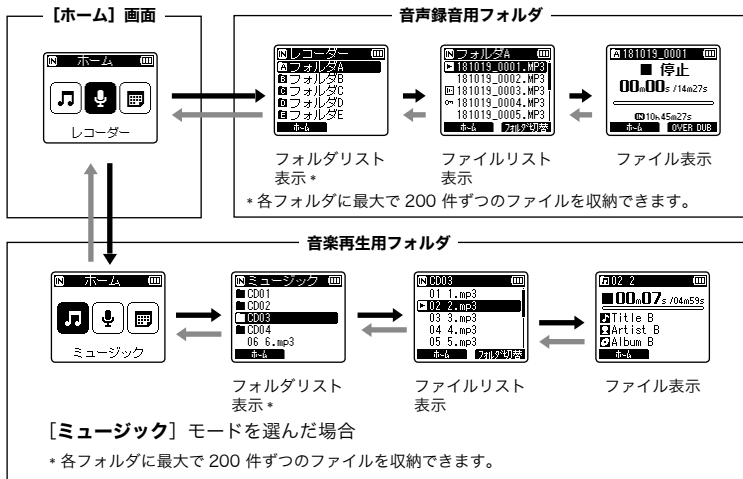
- 【カレンダー検索】** を選んだ場合:



【カレンダー検索】 モードに切り替わり、録音した日付でファイルを検索できます (※ P.63)。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については「ファイルを転送する」をご覧ください (P.156)。



→ 進む: ▶OK ボタン

押すたびにリスト表示で選んだフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。リスト表示は、▶▶ ボタンでも操作できます。

← 戻る: LIST ボタン

押すたびに1つ上の階層に戻ります。リスト表示では、◀◀ ボタンでも操作できます。

ヒント

- フォルダの階層を移動しているときに LIST ボタンを長押しすると、ファイル表示に戻ります。

+または-ボタン

フォルダやファイルを選びます。

【ホーム】画面:

本機のモードを切り替えます (P.36)。

リスト表示:

本機に記録されているフォルダとファイルのリストが表示されます。

F2 (フォルダ切替) ボタンを押すと次のフォルダのリスト表示に切り替わります。

ファイル表示:

選んだファイルの情報が表示されます。

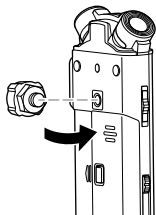
三脚アダプタ (TR2) の取り付け

IC レコーダーを三脚に固定するときに使用します。本体背面にあるアタッチメント取り付け穴のネジ径を 1/4 インチに変換します。

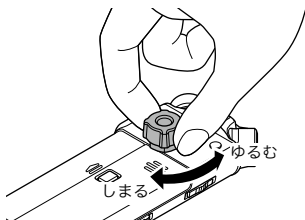
1

三脚アダプタ (TR2) の取り付け

- 1 IC レコーダー背面にある、アタッチメント取り付け穴に三脚アダプタを取り付ける



- 2 三脚アダプタのネジを指で回して本機に固定する

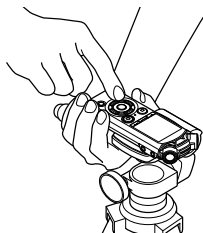


ご注意

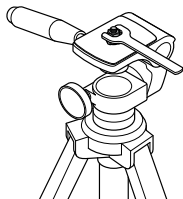
- 三脚アダプタを取り付ける際は、スパナなどの工具を使って強く締めつけないでください。本機が破損する場合があります。

取り扱いについて

三脚に固定した状態で操作するときは、IC レコーダーを支えながら操作してください。支えない状態で強くボタンを押すと、IC レコーダーが破損する場合があります。



三脚の雲台部分と三脚アダプタが外れなくなった場合は、図の部分に M10 サイズのスパナなどを使って取り外してください。



ご注意

- IC レコーダーに取り付ける際は強く締めつけないでください。IC レコーダーが破損する原因となります。
- 専用のアタッチメント以外のものを取り付けしないでください。IC レコーダーが破損する原因となります。
- 三脚に取り付ける際には、IC レコーダーを回さず、三脚側のネジを回すようにしてください。
- 電池 / カードカバーを開けるときは、専用アタッチメントを取り外してから開けてください。

録音について

録音する

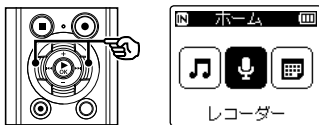
録音用に [A] ~ [E] の5つのフォルダを用意しています。ビジネス用やプライベート用など、録音する内容によって使い分けると便利です。

2

録音する

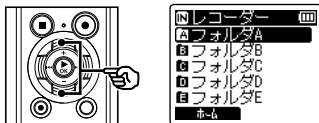
基本的な録音のしかた

- 1 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.36)



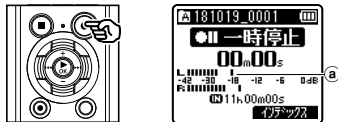
- 2 ►OK ボタンを押す

- 3 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ



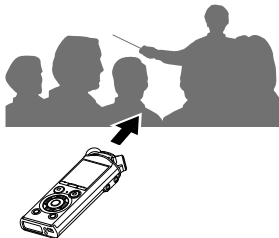
・新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

- 4 REC (●) ボタンを押して録音待機状態にする

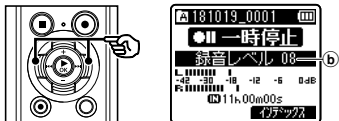


- a レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）
・録音表示ランプが点滅します。

- 5 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



6 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

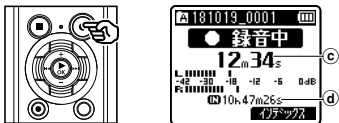


b 録音レベル

ご注意

- レベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。レベルメーターが振り切れないように録音レベルを調節してください。

7 REC (●) ボタンを押して録音を開始する

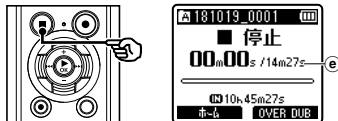


c 録音経過時間

d 録音可能な残り時間

- 録音表示ランプが点灯します。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておく、あとで **[イントロ再生]** 機能を使って検索するときに便利です (P.129)。

8 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する



e ファイルの長さ

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。

181001_0001.MP3

①

②

③

- 録音した日付：**
録音した年月日になります。
- ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続して付けられます。
- 拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
 - リニア PCM 形式：「**WAV**」
 - FLAC 形式：「**FLAC**」
 - MP3 形式：「**MP3**」

ヒント

- [録音モード] は停止中に設定してください (P.98)。
- [ミュージック] モードまたは [カレンダー検索] モードのときに **REC (●)** ボタンを押すと録音を開始できます。突然の録音機会でも対応できます。その際、録音したファイルは [フォルダ A] に保存されます。

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [ファイル件数がいっぱいです] と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.64)。
- [メモリがいっぱいです] と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.64)。
- 本機に microSD カードを入れたときは、使用する記録メディアが [内蔵メモリ] なのか [microSD カード] なのかを間違えないように設定してください (P.131)。
- 記録メディアは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください (P.139)。

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

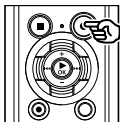
リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 200 件目のファイルが 2GB を越えると、録音を停止します。

FLAC 形式の録音について

- FLAC 形式では、可変ビットレート (1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換する方式) を採用しているため、録音可能時間表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。残量に余裕がある状態で録音してください。
- Bluetooth® 接続中は、FLAC 形式で録音できません。[録音モード] が [FLAC] に設定されているときに Bluetooth® を接続して録音を開始すると、[録音モード] は [PCM] に変更されます。

録音を一時停止する／再開する

1 録音中に **REC (●)** ボタンを押す

- 録音が一時停止し、ディスプレイに [●||一時停止] が点滅します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

2 一時停止中に **REC (●)** ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音が再開されます。

録音内容をすばやく確認するには

1 録音中に **▶OK** ボタンを押す

- 録音が中断され、今録音したファイルが再生されます。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

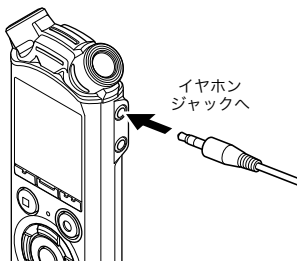
[録音レベル] (P.94)	録音レベルを設定します。
[リミッター] (P.96)	録音時の入力音量に合わせて補正方法を切り替えます。
[録音モード] (P.98)	録音時の音質を設定できます。
[ズームマイク] (P.100)	内蔵ステレオマイクの指向性を設定できます。
[ローカットフィルタ] (P.102)	エアコンの空調音やプロジェクターなどの動作音を低減できます。
[マイク選択] (P.103)	内蔵センターマイクのオン・オフを切り替えます。
[VCVA] (P.104)	音声起動録音 (VCVA) の起動レベルを設定できます。
[音声同期録音] (P.107)	音声同期録音の起動レベルを設定できます。
[録音シーン] (P.45)	録音する場面や状況に合わせて録音設定に一括で切り替えます。

録音中の音声を聞くには

本機のイヤホンジャック (🎧) にイヤホンを差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は+または-ボタンを使用して調節できます。

- イヤホンは別売になります。

1 本機のイヤホンジャック (🎧) にイヤホンを接続する



- 音量を変えても録音レベルは変化しません。







ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングを起こしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

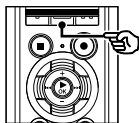
おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]

録音シーンの選びかた

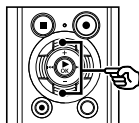
本機には講義や口述など録音するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

[講義]		場所が広く話し手が遠く離れている場合など、マイクをに向けた特定方向への録音に適しています。
[会議]		広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[商談]		小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。
[口述]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
[口述 (騒音下)]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。周囲の雑音が無くなるように、ノイズを抑えて録音します。
[音楽]		楽器演奏や野外録音など、臨場感のある録音をしたいときに適しています。

- 1** 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを長押しする



- 2** + または - ボタンを押して録音シーンを選ぶ

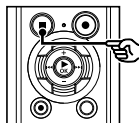


ヒント

- ▶▶ ボタンを押すと選択したテンプレートの設定を確認できます。◀◀ ボタンを押すと [シーン選択] 画面に戻ります。

- 3** ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 4** **STOP (■)** ボタンを押して選択画面を終了する



録音シーン

- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】

ご注意

- [録音シーン] を設定すると、他の [録音設定] の機能は無効になります。また、[録音設定] の機能を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に変更されます。

録音シーンに登録されている設定内容

【講義】：

【録音レベル】	【高】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】	【+6】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【会議】：

【録音レベル】	【オート】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【商談】：

【録音レベル】	【中】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【OFF】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【口述】：

【録音レベル】	【低】
【録音モード】	【MP3 128kbps】
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

【口述（騒音下）】：

【録音レベル】	【低】
【録音モード】	【MP3 64kbps mono】 (サンプリング周波数 16kHz)
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

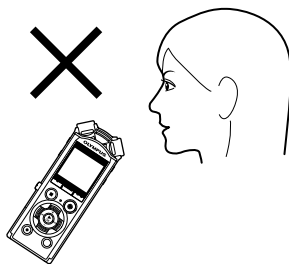
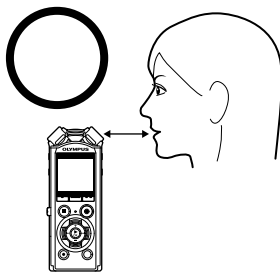
おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】

【音楽】：

【録音レベル】	【低】
【録音モード】	【PCM 44.1kHz/16bit】
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【OFF】
【マイク選択】	【センターマイク ON】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

ご注意

- 【口述（騒音下）】に設定したときは、内蔵ステレオマイクの左右どちらか片方から録音されるよう、顔などを本機の側面 3cm 程度まで近づけ、本機をまっすぐにして録音してください。



- 【口述（騒音下）】に設定したときは、録音時にノイズキャンセルが動作します。

オーバーダビング録音をする

オーバーダビングするファイルを選んで録音する

オーバーダビング機能を使うと、ファイルの再生音を聴きながら重ねて録音ができます。録音したファイルは別の名前で保存されます。曲作りや楽器練習に便利です。

2

オーバーダビング録音をする

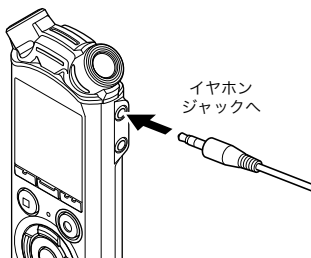
ヒント

[オーバーダビング] 機能を使うには、以下の条件が必要です。

- 再生するファイルは、ファイル形式が **[PCM 44.1kHz/16bit]** または **[PCM 44.1kHz mono]** (.wav) のファイルを選んでください (※ P.37、P.52)。
- [録音モード] は、あらかじめ **[PCM 44.1kHz/16bit]** または **[PCM 44.1kHz mono]** に設定してください (※ P.98)。

1 本機のイヤホンジャック (🔌) にイヤホンを接続する

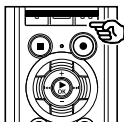
- 再生するファイルの音声は、イヤホンから出力されます。



2 オーバーダビングするファイルを選ぶ (※ P.37)

再生ファイルを選んで録音する

3 停止中に **F2 (OVER DUB)** ボタンを押す



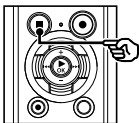
- ファイルの先頭から再生が開始し、同時にオーバーダビング録音も開始します。

ご注意

- 以下の機能が設定されていると、**[オーバーダビング]** 機能は使用できません。
 - [録音と同時に抽出] (P.74)
 - [VCVA] (P.104)
 - [音声同期録音] (P.107)
 - [Bluetooth 設定] (P.146)



4 **STOP (■)** ボタンを押して録音を停止する



- 再生ファイルの再生が終わると、オーバーダビング録音も終了します。

外部マイクを使って録音する

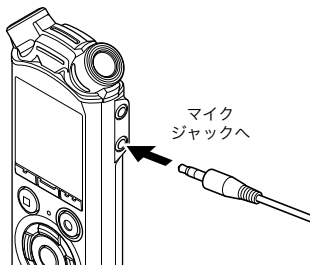
外部マイクで録音する

本機のマイクジャック (🔊) に外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。録音中は本機のジャックに抜き差しをしないでください。

2

外部マイクを使って録音する

1 本機のマイクジャック (🔊) に外部マイクを接続する



ご注意

- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- **【録音モード】** の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声が入ります (P.98)。
- **【録音モード】** の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみが録音されます (P.98)。

2 録音を開始する


- 録音に関する操作は「**録音する**」 (P.40) をご覧ください。

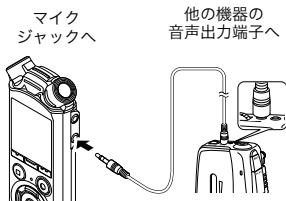
ヒント

- ご使用いただける外部マイクは「**アクセサリ (別売)**」 (P.167) をご覧ください。

他の機器と接続して録音する

他の機器の音声を本機で録音する


他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機のマイクジャック（)をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

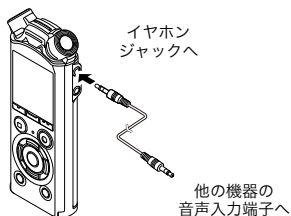


ご注意



- 外部機器を接続する場合、試し録りをして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機のイヤホンジャック（)をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。



ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、イヤホンジャック（)から出力される音声出力信号も変化します（ P.111、P.113、P.118）。

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、FLAC、MP3 形式のファイルが再生できます。

基本的な再生のしかた

3

再生する

- 1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ (P.37)

ヒント

- ファイルは以下の場所に保存されています。

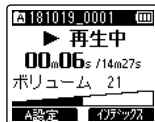
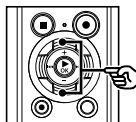
内蔵マイクで録音したファイル：

【レコーダー】フォルダ (録音アイコン) ~
【マイク】フォルダ

パソコンから転送された音楽
ファイル：

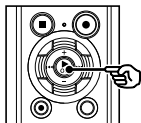
【ミュージック】フォルダ

- 3 + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。
- イヤホン使用中にボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

- 2 ▶ OK ボタンを押して再生を開始する

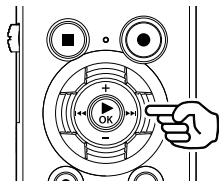


- a フォルダ表示、ファイル名
- b 再生経過時間、ファイルの長さ
- c 再生位置バー表示

- 4 STOP (■) ボタンを押して再生を停止する

- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには



停止中の早送り

1 停止中に ►►► ボタンを押し続ける

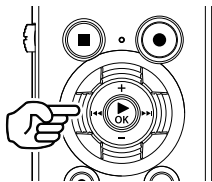
- ►►► ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早送り

1 再生中に ►►► ボタンを押し続ける

- ►►► ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中でインデックスマークやテンプマークが付いているときは、その位置でいったん停止します (P.60)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ►►► ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



停止中の早戻し

1 停止中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

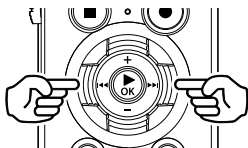
- ◀◀◀ ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早戻し

1 再生中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

- ◀◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中でインデックスマークやテンプマークが付いているときは、その位置でいったん停止します (P.60)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ◀◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



次のファイルの頭出し

- 1** 停止中または再生中に **▶▶▶** ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

- 1** 停止中または再生中に **◀◀◀** ボタンを押す

1つ前のファイルの頭出し

- 1** ファイルの先頭位置で **◀◀◀** ボタンを押す

- 再生中に1つ前のファイルにスキップするときは、2回連続して **◀◀◀** ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中でインデックスマークやテンプマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います (P.60)。
- 【スキップ間隔】が【ファイルスキップ】以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

【声だけ再生】*1 (P.109)	録音した音声ファイルの音声部分だけを再生します。
【ノイズキャンセル】*1 (P.111)	プロジェクターなどの動作音により音声聞き取りにくいときに設定してください。
【ボイスバランサー】*1 (P.113)	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
【再生モード】 (P.115)	レコーダーモードでは2種類、ミュージックモードでは3種類の再生モードが選べます。
【イコライザー】*2 (P.118)	お好みの音質で音楽を楽しめます。
【スキップ間隔】 (P.120)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

*1【レコーダー】モードのときのみ機能します。

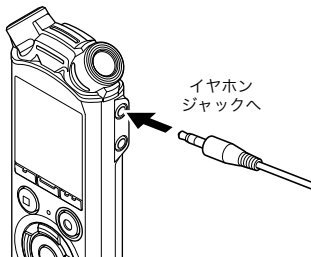
*2【ミュージック】モードのときのみ機能します。

イヤホンで聞くには

本機のイヤホンジャック () にイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンは別売になります。

1 本機のイヤホンジャック () にイヤホンを接続する



2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

ヒント

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出力されません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

- ボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できないときは、サンプリングレートや、ビット数、ビットレートが再生できる範囲かをご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式/ FLAC 形式	44.1 kHz、 48.0 kHz、 88.2 kHz、 96.0 kHz	16 bit、 24 bit
MP3 形式	MPEG1 Layer3 : 32 kHz、 44.1 kHz、 48 kHz MPEG2 Layer3 : 16 kHz、 22.05 kHz、 24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート (1つのファイル内でビットレートを可変させて変換) の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

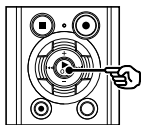
再生速度を変更する

会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

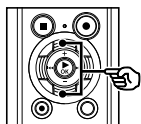
3

再生速度を変更する

1 再生中に ▶OK ボタンを押す



2 +または-ボタンを押して再生速度を変更する



- 0.1 倍速刻みで 0.5 ~ 3.5 の範囲で調整できます。
- + ボタンを押すと再生速度が速くなり、- ボタンを押すと遅くなります。
- 通常の再生速度に戻すには、**[1.0 倍速]** に設定してください。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

再生速度表示



ヒント

- 再生速度を変更しても、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク、テンプマークの挿入などの操作ができます。

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生速度はそのまま保持されます。
- 再生速度を変更すると電池の消耗が早くなります。

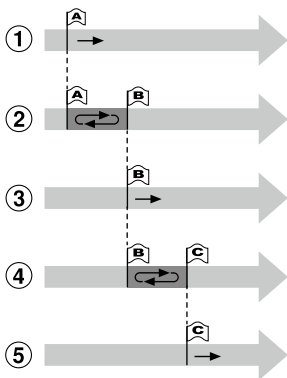
早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生速度を落として再生してください。

ABC リピート再生をする

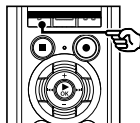
再生中のファイルの一部を繰り返し再生できます。従来の A-B リピート機能に加えて、リピート再生中に反復区間を変更できます。

ABC リピート再生について



- 再生中にリピート再生したい部分の起点 (A) を決定します。
- 終点 (B) を決定するとリピート再生が始まります。
- リピート再生中に起点 (A) を解除すると、終点だった部分 (B) が起点に変わり、再生を継続します。
- 終点 (C) を決定すると再びリピート再生が始まります。
- これらの操作を繰り返し、ファイルの終わりまでリピート再生の区間を更新することができます。

- ABC リピートしたいファイルを選び、再生を開始する
- ABC リピート再生の開始位置で、F1 (A 設定) ボタンを押す



ヒント

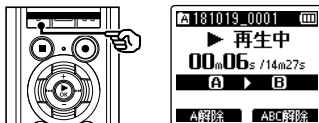
- [A] が点滅中も再生スピードの切り替え (※ P.56) や、早送り・早戻し (※ P.53) が行えます。
- [A] が点滅中にファイルの終わりまで到達すると、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

ABC リpeat再生をする

3

ABC
リ
ピ
ー
ト
再
生
を
す
る

- 3** ABC リpeat再生の終了位置で、もう一度 **F1 (B 設定)** ボタンを押す



- A-B 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。

ABC リpeat再生を停止する場合：

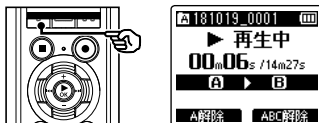
手順 **6** へ

繰り返し位置を更新する場合：

手順 **4** へ

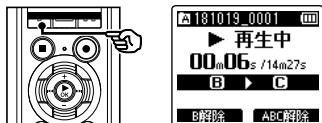
繰り返し位置を更新する

- 4** ABC リpeat再生中に **F1 (A 解除)** ボタンを押す



- A-B 区間が解除されます。[B] が開始位置になり再生を継続します。
- 再生スピードの切り替え (P.56) や早送り・早戻し (P.53) が行えます。

- 5** ABC リpeatの終了位置で **F1 (C 設定)** ボタンを押す

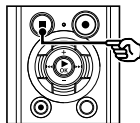


- B-C 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。

ヒント

- 必要に応じて手順 **4** と手順 **5** を繰り返して、繰り返し区間を変更できます。

- 6** **STOP (■)** ボタンを押す



- 再生が停止します。ABC リpeat再生区間は解除されません。

ご注意

- ABC リPEAT再生の開始位置よりも前に繰り返し位置を変更することはできません。
- ABC リPEAT再生中はインデックスマークやテンプマークの挿入はできません (P.60)。

ABC リPEAT再生を解除する

1 F2 (ABC 解除) ボタンを押す



- ABC リPEAT再生の停止中に押すと ABC リPEAT再生区間を解除します。
- ABC リPEAT再生中に押すと、ABC リPEAT再生区間を解除し、再生を続けます。

ご注意

- 他のファイルに変更した場合や、ファイル表示画面から他の表示画面に切り替えた場合も ABC リPEAT再生区間を解除します。

インデックスマーク・テンプマークについて

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機で作成したファイルにはインデックスマークが付けられます。インデックスマークが付けられないファイルと、オリンパス製以外の機器で作成されたファイルには、テンプマークが付けられます。再生中のファイルに聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

3

インデックスマーク・テンプマークについて

- 1 インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**F2 (インデックス)** ボタンを押す

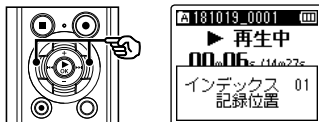


ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- 本機で作成したファイルをパソコンで再生などを行うと、インデックスマークが付けられなくなることがあります。
- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で99件まで付けることができます。99件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとするとき【**これ以上記録できません**】と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません (※ P.77)。
- FLAC形式のファイルには、インデックスマークは付けられません。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

- 1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する
- 2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



- 3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約2秒間）に、**ERASE** ボタンを押す

- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

インデックスマークをまとめて消去する

ファイルに設定したインデックスマークをまとめて消去します。

- 1 消去したいインデックスマークのあるファイルを選ぶ (P.37)
- 2 ファイル表示画面で停止中に **ERASE** ボタンを押す



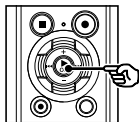
- 操作中に8秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 + または - ボタンを押して **[インデックス全消去]** を選ぶ

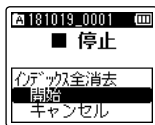
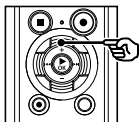


インデックスマークをまとめて消去する

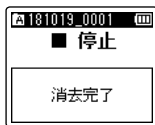
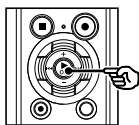
4 ▶OK ボタンを押す



5 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



6 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

カレンダー検索機能を使う

録音した日付でファイルを探す

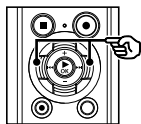
録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまった場合でも、日付が分かっているだけで探し出せます。

ご確認

- 検索できるファイルは [レコーダー] フォルダ内のファイルのみです。

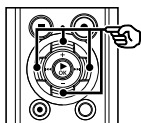
1 停止中に **F1 (ホーム)** ボタンを押して [ホーム] 画面にする

2 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して [カレンダー検索] を選ぶ



3 **▶OK** ボタンを押す

4 **+**、**-** または **▶▶**、**◀◀** ボタンを押して日付を選ぶ



- a 選択した日に登録されているファイル数
- b ファイルを録音した日付
- c 選択した日付
- d 現在の日付

• ファイルが保存されている日付にはアンダーバーが表示されます。

▶▶、**◀◀** ボタン:

前日/翌日へ移動します。押し続けると次の録音ファイルがある日付にスキップします。

+、**-** ボタン:

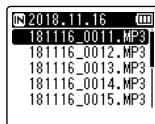
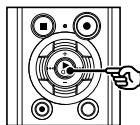
前週/翌週へ移動します。

F1, F2 ボタン:

前月/翌月へ切り替わります。

• **STOP (■)** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ホーム] 画面に戻ります。

5 **▶OK** ボタンを押す



6 **+** または **-** ボタンを押してファイルを選ぶ

7 **▶OK** ボタンを押して再生を開始する

消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ファイルを消去する

3

消去する

- 1 消去したいファイルを選ぶ
(P.37)

- 2 ファイル表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す



・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 + または - ボタンを押して
[フォルダ内消去] または
[1件消去] を選ぶ



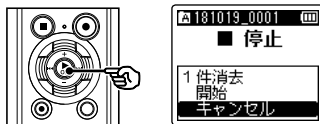
[フォルダ内消去]:

選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。

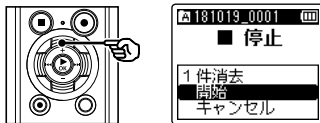
[1件消去]:

選択したファイルを消去します。

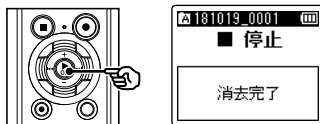
- 4 ▶ OK ボタンを押す



- 5 + ボタンを押して [開始] を選ぶ

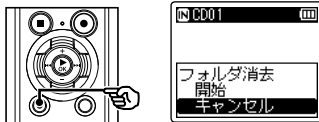


- 6 ▶ OK ボタンを押す

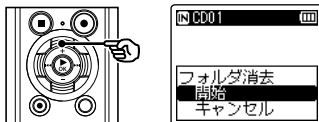


・ ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

フォルダを消去する

1 消去したいフォルダを選ぶ
(P.37)2 フォルダ表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す

- ・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 + ボタンを押して [開始] を
選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

- ・ ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

ご注意

- ・ 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ・ 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください (P.131)。
- ・ ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用設定されているファイルは消去されません (P.77)。
- ・ 本機のデフォルトフォルダの [レコーダー] ([フォルダ A] ~ [フォルダ E]) および [ミュージック] は消去できません。
- ・ [ミュージック] フォルダでは、[ミュージック] 以外のフォルダを消去できます。
- ・ 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- ・ 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - ・ 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - ・ 処理中に電池を取り外す。
 - ・ 記録メディアが [microSD カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

メニューについて

メニュー設定のしかた

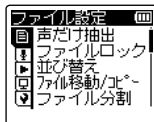
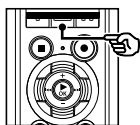
基本的な操作のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

4

メニュー設定のしかた

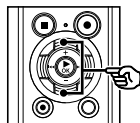
- 1** 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



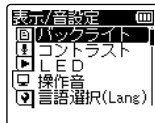
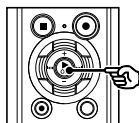
ヒント

- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください (※ P.73)。

- 2** + または - ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ

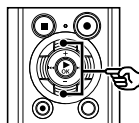


- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

- 4** + または - ボタンを押して設定項目を選ぶ

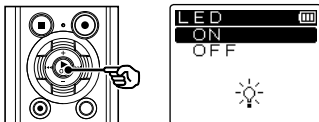


- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

JP

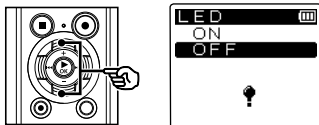
基本的な操作のしかた

5 ▶OK ボタンを押す

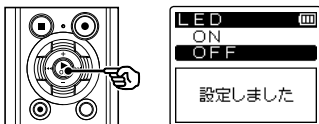


- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

6 +または-ボタンを押して設定を変更する

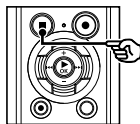


7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する



- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、MENU/SCENE ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

 選択肢欄の  表記は初期設定です

■ ファイルに関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
ファイル設定 [File Menu]	声だけ抽出 *1 [Voice Detect] ☞ P.74	音声ファイルの音声部分のみを抽出できます。
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.77	ファイルの誤消去を防ぎます。 [ON] [OFF]
	並び替え [Sort by] ☞ P.78	フォルダ内のファイルを並べ替えて再生順序を変更できます。 [名前順] [日付昇順] [日付降順]
	ファイル移動/コピー [Move/Copy] ☞ P.80	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.83	本機で録音したファイル (PCM、MP3) を分割できます。
	部分消去 [Partial Erase] ☞ P.85	本機で録音したファイル (PCM) の不要な部分を消去できます。
	トリミング [Trimming] ☞ P.87	本機で録音したファイル (PCM) の必要な部分だけを残して、他の部分を削除します。
	ノーマライズ [Normalize] ☞ P.89	本機で録音したファイル (PCM、MP3) の全体的な音量を上げます。
	フェードイン・アウト [Fade in/out] ☞ P.91	本機で録音したファイル (PCM) の最初をフェードイン、最後をフェードアウトします。
	プロパティ [Property] ☞ P.92	選んだファイルまたはフォルダの情報を確認できます。 ファイルを選んだ場合： [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] [アーティスト] [アルバム] フォルダを選んだ場合： [名前] [フォルダ数] *2 [ファイル数]

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ表示されます。

■ 録音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
録音設定 [Rec Menu]	録音レベル [Rec Level] ※ P.94	[高] [中] [低] [マニュアル] [オート]
	リミッター [Limiter] ※ P.96	[音楽] [音声] [OFF]
	録音モード [Rec Mode] ※ P.98	[PCM] [PCM 96.0kHz/24bit] [PCM 88.2kHz/24bit] [PCM 48.0kHz/24bit] [PCM 48.0kHz/16bit] [PCM 44.1kHz/24bit] [PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono] [FLAC] [FLAC 96.0kHz/24bit] [FLAC 88.2kHz/24bit] [FLAC 48.0kHz/24bit] [FLAC 48.0kHz/16bit] [FLAC 44.1kHz/24bit] [FLAC 44.1kHz/16bit] [FLAC 44.1kHz mono] [MP3] [MP3 320kbps] [MP3 128kbps] [MP3 64kbps mono]
	ズームマイク [Zoom Mic] ※ P.100	[-3] ~ [OFF] ~ [+6]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ※ P.102	[ON] [OFF]
	マイク選択 [Mic Select] ※ P.103	[センターマイクON] [センターマイクOFF]
	VCVA [VCVA] ※ P.104	[ON] [OFF]
	音声同期録音 [V-Sync. Rec] ※ P.107	[1秒] [2秒] [3秒] [5秒] [OFF]
	録音シーン [Rec Scene] ※ P.45	[講義][会議][商談][口述][口述(騒音下)] [音楽] [OFF]

■ 再生に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
再生設定 [Play Menu]	声だけ再生 *1 [Voice Playback] ※ P.109	[ON] [OFF]
	ノイズキャンセル *1 [Noise Cancel] ※ P.111	[HIGH] [LOW] [OFF]
	ボイスバランサー *1 [Voice Balancer] ※ P.113	[ON] [OFF]
	再生モード [Play Mode] ※ P.115	[レコーダー] : [再生範囲] *1 : [ファイル] [フォルダ] [ミュージック] : [再生範囲] *2 : [ファイル] [フォルダ] [全ファイル] [リピート] *2 : [ON] [OFF] [ランダム] *2 : [ON] [OFF]
イコライザー *2 [Equalizer] ※ P.118	[ROCK] [POP] [JAZZ] [USER] [OFF]	
スキップ間隔 [Skip Space] ※ P.120	[スキップ] : [ファイルスキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ] [10分スキップ] [逆スキップ] : [ファイルスキップ] [1秒スキップ] ~ [3秒スキップ] [5秒スキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ]	

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
表示/音設定 [LCD/Sound Menu]	バックライト [Backlight] ☞ P.122	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [OFF]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.123	[01] ~ [06] ~ [12]
	LED [LED] ☞ P.124	[ON] [OFF]
	操作音 [Beep] ☞ P.125	[ON] [OFF]
	言語選択 (Lang) [Language] ☞ P.126	[日本語] [English]
	音声ガイド [Voice Guide] ☞ P.127	[ON/OFF] [ON] [OFF] [スピード] [スピード 5] ~ [スピード 3] ~ [スピード 1] [音量] [音量 5] ~ [音量 3] ~ [音量 1]
	イントロ再生 [Intro Play] ☞ P.129	[3 秒] [5 秒] [10 秒] [OFF]
	スピーカ出力 [Speaker] ☞ P.130	[ON] [OFF]

■ 本機に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
本体設定 [Device Menu]	メモリ選択 [Memory Select] ☞ P.131	[内蔵メモリ] [microSD カード]
	スリープ [Power Save] ☞ P.132	[5分] [10分] [30分] [1時間] [OFF]
	電池設定 [Battery] ☞ P.133	[ニッケル水素電池] [アルカリ電池]
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.134	[時] [分] [年] [月] [日]
	Bluetooth® 設定 [Bluetooth] ☞ P.135、P.146	[機器接続] [機器切断] [ペアリング]： [本機から接続] [機器から接続]
	USB 設定 [USB Settings] ☞ P.136	[USB 接続]： [PC 接続] [AC アダプタ接続] [毎回確認] [USB クラス]： [ストレージ] [コンボジット]
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.138	メニュー設定（時計設定を除く）を 初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.139	使用しているメディアを初期化しま す。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.141	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.142	[モデル] [バージョン] [シリアル番号]

■ 録音動作中に設定できる

メニュー項目：

録音レベル

ズームマイク

ローカットフィルタ

VCVA

バックライト

LED

■ 再生動作中に設定できる

メニュー項目：

フロパティ

ノイズキャンセル *1

ボイスバランサー *1

再生モード

イコライザー *2

スキップ間隔

バックライト

LED

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルの音声部分を抽出する [声だけ抽出]

本機で録音した音声ファイルまたは録音中のファイルの音声部分を抽出します。抽出処理されたファイルを再生すると、非音声部分は自動的にスキップされます (P.109)。

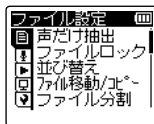
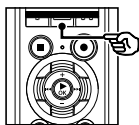
ご確認

- 音声抽出機能は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- 保存されているファイルから音声抽出する場合は、あらかじめ [レコーダー] フォルダ内の [A1] ~ [A9] フォルダのいずれかを選んでください。

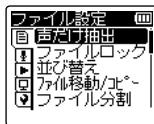
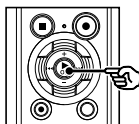
4

ファイルメニュー「ファイル設定」

1 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す

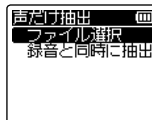
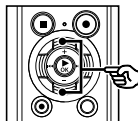


2 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



3 ▶OK ボタンを押す

4 +または-ボタンを押して [ファイル選択] または [録音と同時に抽出] を選ぶ



[ファイル選択] :

音声部分を抽出するファイルを選びます。

[録音と同時に抽出] :

録音しながら同時に音声部分を抽出します。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る

ファイルの音声部分を抽出する【声だけ抽出】

【ファイル選択】を選んだ場合：

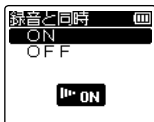
- ① +または-ボタンを押して音声抽出したいファイルを選ぶ。



- ② ▶OK ボタンを押す。
 - ・ディスプレイに進行状況をパーセンテージで表示します。
 - ・【声だけ抽出処理が完了しました】と表示されたら終了です。

【録音と同時に抽出】を選んだ場合：

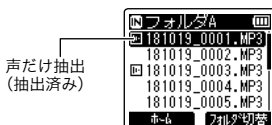
- ① +または-ボタンを押して【ON】または【OFF】を選ぶ。



- 【ON】：
録音しながら同時に音声部分を抽出します。
- 【OFF】：
通常の録音になります。
- ② ▶OK ボタンを押す。
 - ・【設定しました】と表示されたら終了です。

6 STOP(■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルリスト表示画面



停止時



声だけ抽出 (【録音と同時に抽出】が【ON】のとき)

- ・停止中に STOP(■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ヒント

- ・音声部分の抽出が終了すると、【再生設定】メニューにある【声だけ再生】の設定が【ON】に切り替わります (※ P.109)。

ファイルの音声部分を抽出する【声だけ抽出】

ご注意

- ファイルが保存されていないフォルダを選んでいる場合、**「ファイルがありません」**と表示されます。ファイルが保存されているフォルダを選んでから操作してください。
- 楽器の演奏などを録音したファイルでは、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音時における音声小さい場合（レベルメーターが -12 dB 以下）や、周囲のノイズによっては、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音した音声ファイルの容量が大きいほど、抽出処理に時間がかかります。処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ充電するか、または新しい電池に交換することをおすすめします。
- **「録音と同時に抽出」**機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- **「録音と同時に抽出」**機能は、**「録音モード」**の設定が**「MP3」**のときのみ使用できます (P.98)。
- **「録音と同時に抽出」**機能を使うときは以下の機能が使用できません。
 - **「録音シーン」** (P.45)
 - **「オーバーダビング」** (P.48)
 - **「VCVA」** (P.104)
 - **「音声同期録音」** (P.107)

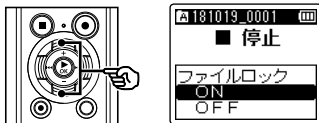
ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません (P.64)。

- 1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ (P.37)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 **+** または **-** ボタンを押して [ファイルロック] を選ぶ



- 5 **▶OK** ボタンを押す
- 6 **+** または **-** ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
ファイルロックがかかります。

[OFF] :
ファイルロックが解除されます。

• **◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

- 7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルリスト表示画面



ファイル表示画面

• ファイルを選択するたびに 2 秒間表示します。



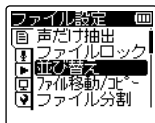
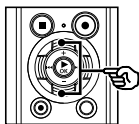
ファイルを並べ替える [並び替え]

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。並べ替え方法は [名前順]、[日付昇順]、[日付降順] の3通りから選べます。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

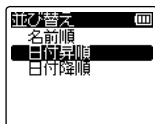
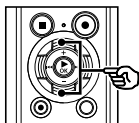
2 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

3 + または - ボタンを押して [並び替え] を選ぶ



4 ▶ **OK** ボタンを押す

5 + または - ボタンを押して [名前順]、[日付昇順] または [日付降順] を選ぶ



[名前順] :

ファイルを自動的に名前順で並べ替えます。

[日付昇順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の昇順で並べ替えます。

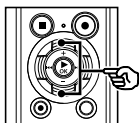
[日付降順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の降順で並べ替えます。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

6 ▶ **OK** ボタンを押す

7 + または - ボタンを押して [レコーダー] または [ミュージック] を選ぶ



[レコーダー] :

[レコーダー] フォルダ内の全ファイルを並べ替えます。

[ミュージック] :

[ミュージック] フォルダ内の全ファイルを並べ替えます。

ファイルを並べ替える【並び替え】

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。
- [順番を変更しました] と表示されたら終了です。

9 STOP(■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- [名前順] を選んだ場合、ファイル名の先頭から20文字までの文字コードで比較して順番を決定します。

ファイルを移動/コピーする【ファイル移動/コピー】

内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。

- 1** あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ (P.37)

- 2** 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 3** ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して【ファイル移動/コピー】を選ぶ



- 5** ▶ **OK** ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ



[本体内へ移動] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。

[本体内へコピー] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。

[microSD へ移動] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。

[microSD へコピー] :

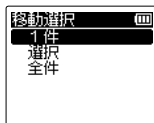
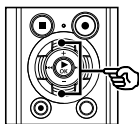
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、【ファイル設定】画面に戻ります。

- 7** ▶ **OK** ボタンを押す

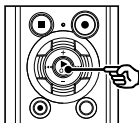
ファイルを移動/コピーする【ファイル移動/コピー】

- 8 +または-ボタンを押して
ファイルの移動または
コピー件数を選ぶ



- [1件]: 指定した1件を選びます。
[選択]: 複数のファイルを選びます。
[全件]: フォルダ内のファイルをすべて選びます。

- 9 ▶OK ボタンを押してそれぞれ
の設定に移る



[1件] を選んだ場合:

- ① +または-ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶OK ボタンを押す。



[選択] を選んだ場合:

- ① +または-ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶OK ボタンを押す。



ヒント

- 選んだファイルを解除する場合は、解除したいファイルを選んでもう一度▶OK ボタンを押します。
- ② 手順①を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、F2 ボタンを押す。

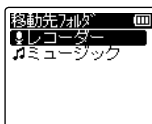
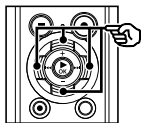


[全件] を選んだ場合:

自動的に現在のフォルダ内のすべてのファイルが選択され、[移動先フォルダ]画面に移ります。

ファイルを移動/コピーする【ファイル移動/コピー】

- 10 十、-または▶▶、◀◀ ボタンを押してファイルの移動先またはコピー先のフォルダを選ぶ



ヒント

- ・【レコーダー】の場合、【レコーダー】フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。▶▶または◀◀ ボタンを押して【レコーダー】フォルダ内の [] ~ [] フォルダのいずれかを選んでください。

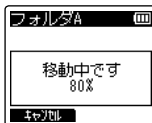
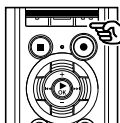
ヒント

- ・ファイルロック (P.77) をかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。

ご注意

- ・メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ・ファイル件数が 200 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ・ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- ・同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- ・移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。

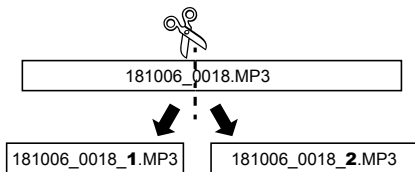
- 11 F2 ボタンを押す



- ・進行状況をパーセンテージで表示します。
- ・【移動しました】または【コピーしました】と表示されたら終了です。

ファイルを分割する [ファイル分割]

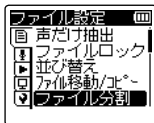
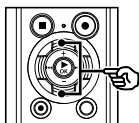
容量の大きなファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。



ご確認

- ファイル分割できるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

- 1 あらかじめ分割したいファイルを選ぶ (☞ P.37)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ファイル分割] を選ぶ



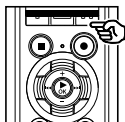
- 5 ▶ **OK** ボタンを押す
- 6 ▶ **OK** ボタンを押して分割したい位置まで再生する (☞ P.52)

- 再生スピードの切り替え (☞ P.56) や早送り、早戻し (☞ P.53) が行えます。

ヒント

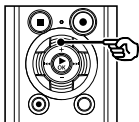
- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です (☞ P.60)。

- 7 ファイルを分割したい位置で **F2** ボタンを押す



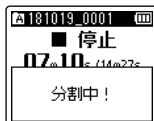
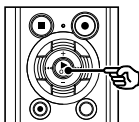
ファイルを分割する【ファイル分割】

- 8 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、ファイル表示画面に戻ります。

- 9 ▶ OK ボタンを押す



- ディスプレイが【分割中!】に変わり、ファイル分割を開始します。【分割しました】と表示されたら終了です。

- 10 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

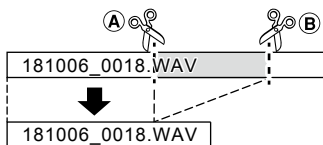
- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「ファイル名_1」、後半部分のファイルが「ファイル名_2」となります。

ご注意

- ファイル表示画面以外からは【ファイル分割】はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 200 件の場合、分割できません。
- ファイルロック (P.77) がかかっているファイルは分割できません。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの一部を消去する【部分消去】

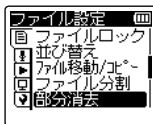
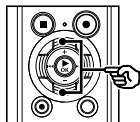
ファイルの不要な部分を消去できます。



ご確認

- 部分消去できるファイルは本機で録音した PCM 形式のみです。

- あらかじめ部分消去したいファイルを選ぶ (P.37)
- 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- + または - ボタンを押して **[部分消去]** を選ぶ

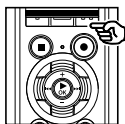


- ▶ **OK** ボタンを押す

- ▶ **OK** ボタンを押して部分消去したい位置 (図 A) まで再生する (P.52)

- 再生スピードの切り替え (P.56) や早送り、早戻し (P.53) が行えます。

- 部分消去の開始位置 (図 A) で **F2** ボタンを押す



ヒント

- 開始位置決定後も再生は続き、通常の再生中と同じように再生スピードおよび早送り・早戻しが行えて終了位置まで早く進めることができます。
- 終了位置がファイルの終わりまで到達した場合、自動的にその場所が消去終了位置になります。

ファイルの一部を消去する [部分消去]

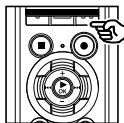
- 開始位置および終了位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です (P.60)。

- ディスプレイが [部分消去中!] に変わり、部分消去を開始します。 [部分消去しました] と表示されたら終了です。

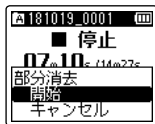
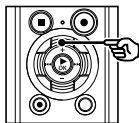
4

ファイルメニュー「ファイル設定」

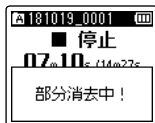
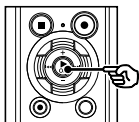
- 8 部分消去を終了したい位置 (図 ⑧) でもう一度 **F2** ボタンを押す



- 9 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 10 ▶ **OK** ボタンを押す



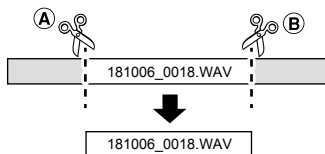
- 11 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用設定されているファイルは消去されません (P.77)。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対に行わないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - 処理中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが [microSD カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

ファイルの必要な部分だけを残す【トリミング】

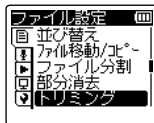
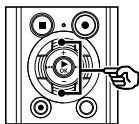
ファイルの必要な部分だけを切り残して保存し直します。



ご確認

- トリミングできるファイルは本機で録音した PCM 形式のみです。

- 1 あらかじめトリミングしたいファイルを選ぶ (P.37)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して【トリミング】を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 ▶OK ボタンを押して切り残したい部分の開始位置 (図 A) まで再生する (P.52)

- 再生スピードの切り替え (P.56) や早送り、早戻し (P.53) が行えます。

- 7 切り残したい部分の開始位置 (図 A) で **F2** ボタンを押す



ヒント

- 開始位置決定後も再生は続き、通常の再生中と同じように再生スピードおよび早送り・早戻しが行えて終了位置まで早く進めることができます。
- 終了位置がファイルの終わりまで到達した場合、自動的にその場所がトリミング終了位置になります。

ファイルの必要な部分だけを残す【トリミング】

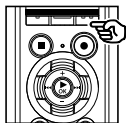
- 開始位置および終了位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です (P.60)。

- ディスプレイが【トリミング中!】に変わり、指定した位置より前の部分と指定した位置より後ろの部分を削除します。【トリミングしました】と表示されたら終了です。

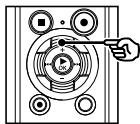
4

ファイルメニュー「ファイル設定」

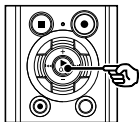
- 8 切り残したい部分の終了位置 (図 ⑧) でもう一度 **F2** ボタンを押す



- 9 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



- 10 ▶ OK ボタンを押す



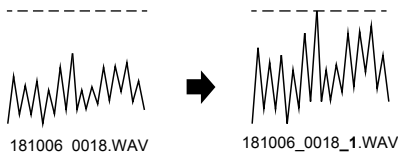
- 11 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用設定されているファイルはトリミングできません (P.77)。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - 処理中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが【microSD カード】の場合、処理中にカードを取り外す。

ファイルの音量レベルを全体的に上げる【ノーマライズ】

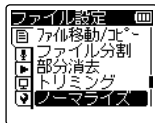
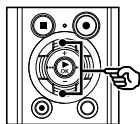
録音したファイルの一番大きな音量が音割れしない（歪まない）限界値まで全体的に音量を大きくして新しいファイルとして保存します。



ご確認

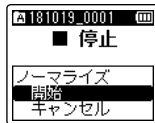
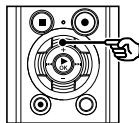
- 音量レベルを上げられるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

- 1 あらかじめ音量を上げたいファイルを選ぶ（☞ P.37）
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して【ノーマライズ】を選ぶ



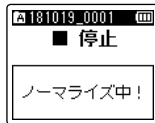
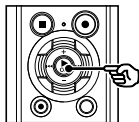
- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、【ファイル設定】画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押す



ファイルの音量レベルを全体的に上げる【ノーマライズ】

- ディスプレイが【ノーマライズ中!】に変わり、ノーマライズを開始します。【ノーマライズしました】と表示されたら終了です。

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

4

ヒント

- ノーマライズ後のファイル名は、「ファイル名_1」となります。

ご注意

- 以下のようなファイルでは、ノーマライズの効果が得られない場合があります。
 - 元々大きな音量で録音されているファイル。
 - 突発的に大きな音が録音されているファイル。
 - 音量のばらつきが大きなファイル。

ファイルの最初と最後をフェードイン・フェードアウトする 【フェードイン・アウト】

ファイルの最初と最後をそれぞれ1秒間、フェードイン・フェードアウトし、新しいファイルとして保存します。

ご確認

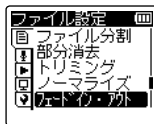
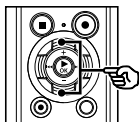
- フェードイン・アウトができるファイルは、本機で録音したPCM形式のみです。

1 あらかじめフェードイン・アウトしたいファイルを選ぶ
(P.37)

2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

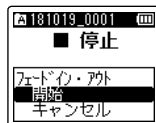
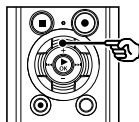
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して
【フェードイン・アウト】を選ぶ

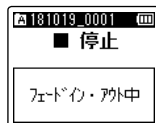
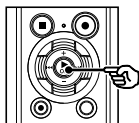


5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



7 ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが【フェードイン・アウト中】に変わり、フェードイン、フェードアウトが行われます。
【フェードイン・アウトしました】と表示されたら終了です。

8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- フェードイン・アウト後のファイル名は、「ファイル名_1」となります。

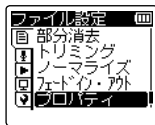
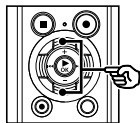
ファイルやフォルダの情報を見る【プロパティ】

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

4

ファイルメニュー
「ファイル設定」

- 1 情報を表示したいファイルまたはフォルダを選ぶ
(P.37)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して【プロパティ】を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

ファイルを選んだ場合：

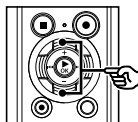
手順 6 へ

フォルダを選んだ場合：

手順 8 へ

ファイルの情報

- 6 + または - ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

- ・ [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] *1 [アーティスト] *2 [アルバム] *2 が表示されます。

*1 リニア PCM 形式または FLAC 形式のファイルを選んだ場合、[ビットレート]部にサンプリングレートやビット数が表示されます。

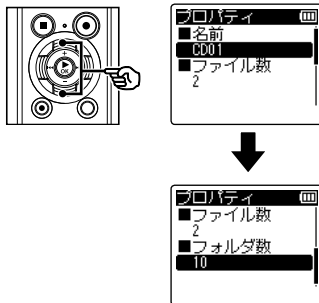
*2 タグ情報がファイルにない場合、[UNKNOWN_ARTIST]、[UNKNOWN_ALBUM] と表示されます。

ファイルやフォルダの情報を見る [プロパティ]

- 7 情報を確認したら ▶OK ボタンを押して、手順 10 に進む
- 9 情報を確認したら ▶OK ボタンを押して、手順 10 に進む

フォルダの情報

- 8 + または - ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

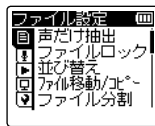
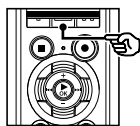
- [名前] [ファイル数] [フォルダ数] が表示されます。
- [レコーダー] モードの場合、[フォルダ数] は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

録音メニュー [録音設定]

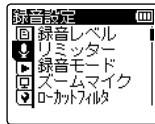
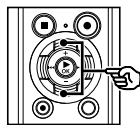
録音感度を選択する [録音レベル]

目的に合わせて録音レベルの感度を切り替えられます。

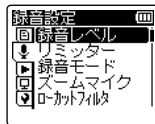
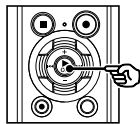
- 1** 停止中または録音中に
MENU/SCENE ボタンを押す



- 2** + または - ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

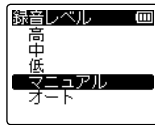
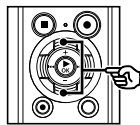


- 3** ▶ **OK** ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する



- 4** ▶ **OK** ボタンを押す

- 5** + または - ボタンを押して
[高]、[中]、[低]、[マニュアル]
または [オート] を選ぶ



[高] :

最も録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

[中] :

打ち合わせや少人数の会議などの録音に適しています。

[低] :

最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

[マニュアル] :

録音レベルを 30 段階に調整できます。

[オート] :

入力された音量に追従して、録音レベルが自動的に変化します。音声全般を録音するときに適しています。

- ▶ ◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

録音感度を選択する【録音レベル】

- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ヒント

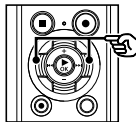
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、**【録音レベル】** を **【低】** に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて (5 ~ 10cm) 録音してください。

ご注意

- 【録音レベル】** が **【マニュアル】** 以外に設定されている場合、録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を入力すると、ノイズが発生することがあります。
- 【録音レベル】** を設定すると、**【録音シーン】** は **【OFF】** に変更されます。

録音レベルを調整する

- 1 録音中または録音一時停止中に ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する



- 数字が大きくなるとレベルが上がリ、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

ご注意

- 【OV】** が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。**【OV】** が表示されないよう録音レベルを調整してください。
- 【録音シーン】** が設定されているときは、録音中に **【録音レベル】** を設定できません。

過大入力時の音割れを抑える [リミッター]

録音時の過大入力による音割れを自動的に抑制します。適切な入力レベルを維持しながら録音できます。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [リミッター] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [音楽]、[音声] または [OFF] を選ぶ



[音楽] :
音量の大小を明確にします。音楽録音に適した設定です。

[音声] :
音量の大小を平坦にします。一定の音量で統一感のある録音ができます。音声録音に適した設定です。

[OFF] :
補正機能を使わずに、入力レベルを調整する場合に選びます。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



リミッター

• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

過大入力時の音割れを抑える【リミッター】

ご注意

- [リミッター] は [録音レベル] の設定が [マニュアル] のときのみ機能します (P.94)。
- [リミッター] の設定を [音楽] または [音声] に設定していても、あまりにも大きな音を入力するとノイズが発生することがあります。また、このときには過入力をお知らせする **PEAK** 表示ランプが点灯しない場合があります。失敗のない録音のために試し録りをしてください。

録音モードを設定する [録音モード]

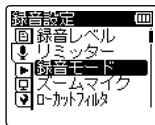
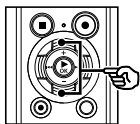
音質や録音時間を重視した録音ができます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

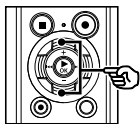
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [録音モード] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して [PCM]、[FLAC] または [MP3] を選ぶ

**[PCM]**

音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。

[FLAC]

PCM 形式の音源を可逆圧縮し、PCM 形式よりもファイルサイズを小さくした形式です。

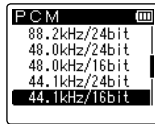
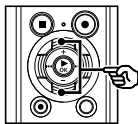
[MP3]

一般的な音声の非可逆圧縮方式です。ファイルサイズは、最も小さくなります。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶ **OK** ボタンを押す

8 + または - ボタンを押して録音レートを選ぶ



録音モードを設定する [録音モード]

[96.0kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[88.2kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[48.0kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[48.0kHz/16bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz/16bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz mono] *1	[PCM] [FLAC]
[320kbps]	[MP3]
[128kbps]	[MP3]
[64kbps mono] *1	[MP3]

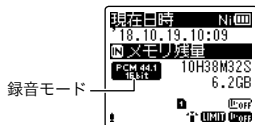
*1 モノラル録音になります。

ヒント

- 録音レートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が十分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[録音モード]の設定を [mono] 以外にして録音することをおすすめします。

- 9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 10 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 停止中に STOP (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [録音モード] の設定をステレオ方式にしてモノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声録音されます。
- [録音モード] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に変更されます。
- [FLAC] に設定した場合、録音可能な残り時間の秒は表示されません。
- [FLAC] に設定して Bluetooth® 機器を接続して録音を開始すると、[PCM] に変更されます。

マイクの指向性を選択する [ズームマイク]

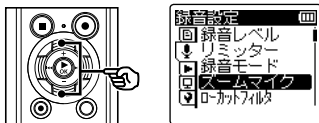
広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つで切り替えが可能です。

1 停止中または録音中に
MENU/SCENE ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

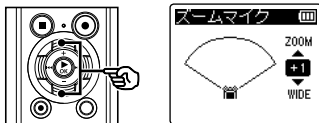
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[ズームマイク] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
内蔵ステレオマイクの指向性を調整する



- +側になると指向性が高まります。
- -側になると広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 指向性を抑え、集音範囲を広げるとステレオ感のある録音ができます。
- [-3] ~ [+6] の範囲で調整できます。
- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

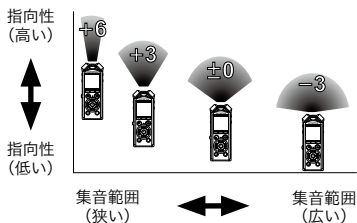


ズームマイク

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

マイクの指向性を選択する【ズームマイク】

ズームマイク機能について



ご注意

- ・【**ズームマイク**】機能は本機の内蔵ステレオマイクで性能が発揮できるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、接続コードを利用して他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。
- ・【**ズームマイク**】機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- ・【**ズームマイク**】を設定すると、【**録音シーン**】は【**OFF**】に変更されます。また【**録音シーン**】が設定されているときは、録音中に【**ズームマイク**】を設定できません。

ノイズを軽減して録音する [ローカットフィルタ]

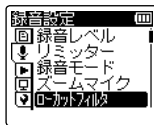
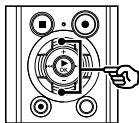
エアコンの空調音やプロジェクターなどの低周波音を軽減して録音できます。

1 停止中または録音中に
MENU/SCENE ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

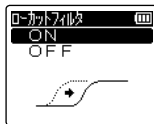
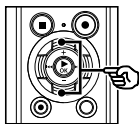
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[ローカットフィルタ] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
[ON] または [OFF] を選ぶ



[ON]:
ローカットフィルタが機能します。

[OFF]:
機能しません。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

• [ローカットフィルタ]を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に変更されます。[録音シーン] が設定されているときは、録音中に [ローカットフィルタ] を設定できません。

3 マイクモードで録音する [マイク選択]

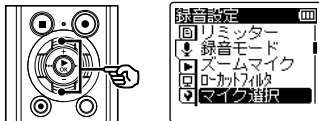
内蔵センターマイクのオン/オフを切り替えます。高性能ステレオマイクと低音域を補強するセンターマイクの組み合わせで20Hz～20000Hzといった、より原音に近い広帯域の録音が可能です。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [マイク選択] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [センターマイク ON] または [センターマイク OFF] を選ぶ



[センターマイク ON] :

内蔵センターマイクが有効になり、3 マイクモードで録音します。

[センターマイク OFF] :

内蔵センターマイクが無効になり、内蔵ステレオマイクのみで録音します。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



マイク選択

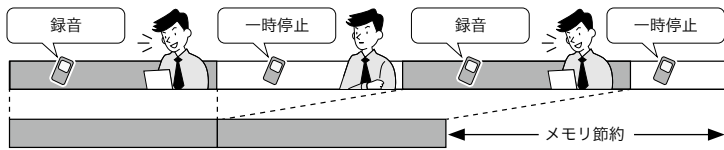
• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

• [マイク選択] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に変更されます。

音声起動録音機能を使う【VCVA】

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を検知すると自動的に録音が始まり、音声小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。



4

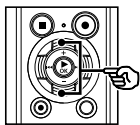
録音メニュー「録音設定」

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して **[録音設定]** タブを選ぶ

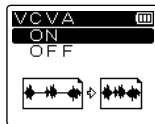
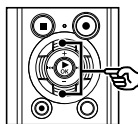
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して **[VCVA]** を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して **[ON]** または **[OFF]** を選ぶ



[ON] :
VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます (※ P.105)。

[OFF] :
機能しません。通常の録音に戻ります。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、**[録音設定]** 画面に戻ります。

- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

音声起動録音機能を使う [VCVA]

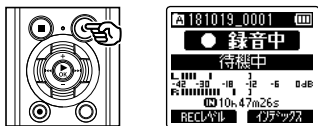
- 1 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

音声起動レベルを調整して録音する

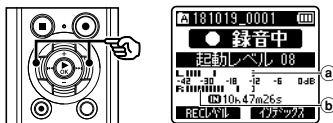
- 1 **REC (●)** ボタンを押して録音を開始する



- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音が一時停止します。

このときディスプレイに **[待機中]** が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。

- 2 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して音声起動レベルを調整する



- a 音声起動レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)
- b レベルメーター (録音音量に合わせて変化します)

- [01] ~ [23] の範囲で調整できます。

ヒント

- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が大いなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。
- VCVA 録音中に録音レベル (P.94) を **[マニュアル]** で変更する場合は、**F1** ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わります。もう一度押すと音声起動レベルの調整モードに戻ります。

音声起動録音機能を使う【VCVA】

ご注意

- **【VCVA】** 機能を設定すると、以下の機能は **【OFF】** に変更されます。また、以下の機能が設定されているときは、録音中に **【VCVA】** を設定できません。
 - **【録音シーン】**(☞ P.45)
 - **【オーバーダビング】**(☞ P.48)
 - **【録音と同時に抽出】**(☞ P.74)
 - **【音声同期録音】**(☞ P.107)

音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

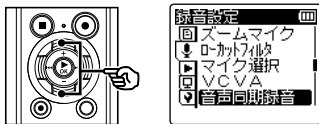
音声同期録音は、設定した音声同期録音レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。他の機器と接続して音楽をダビングするときは、曲間の無音部分を検出して1曲ごとにファイルとして保存されます。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

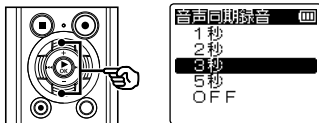
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [音声同期録音] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して設定を変更する



[1秒] [2秒] [3秒] [5秒]:

検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機は待機状態になります。

[OFF]: 通常の録音になります。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



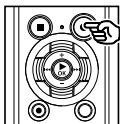
音声同期録音

• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

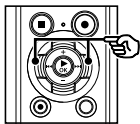
音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

音声同期レベルを調整して録音する

1 REC (●) ボタンを押して録音の準備をする



2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声同期レベルを調整する



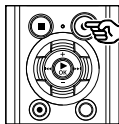
音声同期レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)

- 音声同期レベルは [01] ~ [23] まで調整できます。
- 数字が大きくなるほど起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。

ヒント

- 音声同期レベル調整中に録音レベル (※ P.94) を [マニュアル] で変更する場合は、F1 ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わりません。もう一度押すと音声同期レベルの調整モードに戻ります。

3 もう一度 REC (●) ボタンを押す



- ディスプレイに [待機中] が点滅し、録音表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

ヒント

- 音声同期レベル以下の音が設定した検出時間以上続くと録音が自動的に終了し、録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、次に音声を感じたときは新しいファイルに録音されます。
- 音声同期録音を途中で止める場合、STOP (■) ボタンを押してください。

ご注意

- [音声同期録音] 機能を設定すると、以下の機能は [OFF] に変更されます。
 - [録音シーン] (※ P.45)
 - [オーバーダビング] (※ P.48)
 - [録音と同時に抽出] (※ P.74)
 - [VCVA] (※ P.104)

再生メニュー [再生設定]

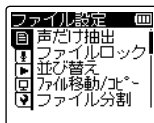
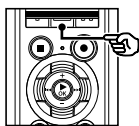
非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]

録音した音声ファイルの音声部分だけを再生できます。

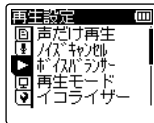
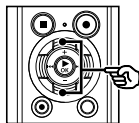
ご確認

- あらかじめファイルの音声部分を抽出してください (※ P.74)。

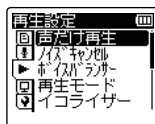
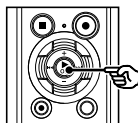
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

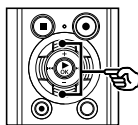


- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
ファイルの非音声部分を自動的にスキップして音声部分だけを再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]

- 7 **STOP (■)** ボタンを押して
メニュー画面を終了する



- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [声だけ再生] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

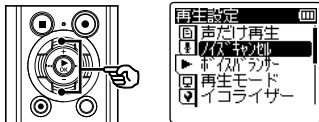
録音した音声聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

- 1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

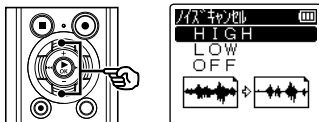
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して
[ノイズキャンセル] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
[HIGH]、[LOW] または
[OFF] を選ぶ



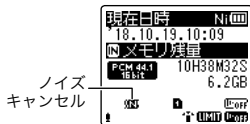
[HIGH] [LOW] :
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

ご注意

- [ノイズキャンセル] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ノイズキャンセル] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

低音域と高音域成分をカットし、音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。会話などの小さい音を大きく明瞭にします。

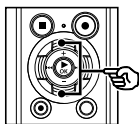


- 1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

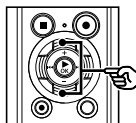
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して
[ボイスバランサー] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
[ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
音声ファイルの小さい部分を大きく
なるように補正して再生します。

[OFF] :
機能しません。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャン
セルされ、[再生設定] 画面に戻り
ます。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を
完了する

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

- 8 **STOP (■) ボタンを押して**
メニュー画面を終了する



- 停止中に **STOP (■) ボタン** を押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [ボイスバランサー] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ボイスバランサー] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

再生モードを選択する [再生モード]

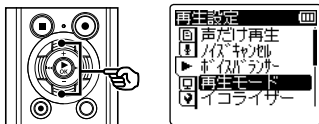
お好みに合わせて再生モードをお選びください。

- 1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

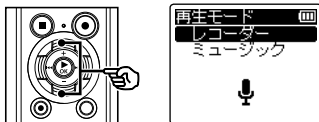
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して
[再生モード] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
[レコーダー] または
[ミュージック] を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す

[レコーダー] を選んだ場合:

☞ 手順 6 へ

[ミュージック] を選んだ場合:

☞ 手順 10 へ

[レコーダー] を選んだ場合:

- 8 +または-ボタンを押して
[ファイル] または [フォルダ]
を選ぶ



[ファイル]:

現在のファイルを再生後に停止します。

[フォルダ]:

現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

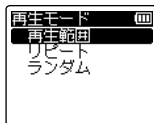
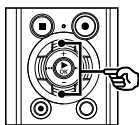
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

- 9 ▶OK ボタンを押して、手順
14 に進む

再生モードを選択する [再生モード]

[ミュージック] を選んだ場合：

- 10 **+** または **-** ボタンを押して [再生範囲]、[リピート] または [ランダム] を選ぶ



[再生範囲]：
ファイル再生の範囲を指定します。

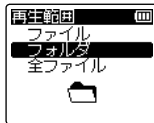
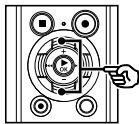
[リピート]：
設定された範囲を繰り返して再生します。

[ランダム]：
設定された範囲をランダムに再生します。

- **◀▶** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

- 11 **▶OK** ボタンを押す

- 12 **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



[再生範囲] を選んだ場合：

[ファイル] [フォルダ] [全ファイル]：

ファイル再生の範囲を指定します。

[リピート] または [ランダム] を選んだ場合：

[ON]：

再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。

[OFF]：

リピート再生およびランダム再生を解除します。

- 13 **▶OK** ボタンを押して、手順 14 に進む

- 14 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



再生モード

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

再生モードを選択する [再生モード]

ご注意

- [再生範囲] を [ファイル] に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに [ファイルエンド] が2秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- [再生範囲] を [フォルダ] に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が2秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- [再生範囲] を [全ファイル] に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。ミュージックフォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が2秒間点滅し、ミュージックフォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

音楽の音質を変える [イコライザー]

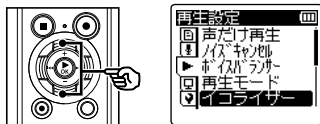
イコライザーの設定を変えると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

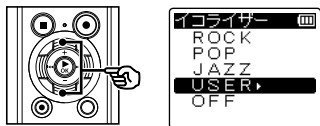
3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[イコライザー] を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
イコライザー特性を選ぶ



• [USER] を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。

[USER] を選んだ場合：

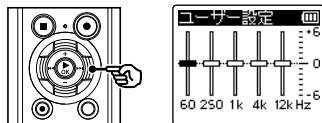
☞ 手順 7 へ

[USER] 以外を選んだ場合：

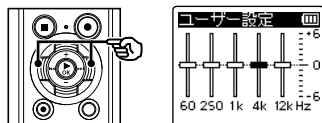
☞ 手順 10 へ

[USER] を選んだ場合：

7 ▶▶ ボタンを押す



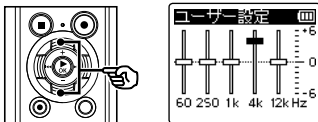
8 ▶▶または◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ



• [60Hz] [250Hz] [1kHz]
[4kHz] [12kHz] の周波数帯域ごとにレベルを設定できます。

音楽の音質を変える [イコライザー]

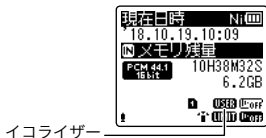
- 9 + または - ボタンを押してレベルを設定する



- [-6] から [+6] までを 1 dB 単位で設定できます。
- レベル数を大きくすると、その周波数帯域が強調されます。
- 他の周波数帯域を変更する場合、手順 8 と手順 9 を繰り返してください。

- 10 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

- 11 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 停止中に STOP (■) ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

ご注意

- [イコライザー] は [ミュージック] モードのときのみ機能します。

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

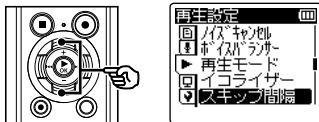
再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻す）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

- 1** 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを押す

- 2** +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

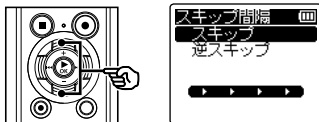
- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** +または-ボタンを押して
[スキップ間隔] を選ぶ



- 5** ▶OK ボタンを押す

- 6** +または-ボタンを押して
[スキップ] または
[逆スキップ] を選ぶ



[スキップ] :
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

[逆スキップ] :
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

- 7** ▶OK ボタンを押す

- 8** +または-ボタンを押して
設定を選ぶ



[スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ] [10分 スキップ]

[逆スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ]
[1秒 スキップ] ~ [3秒 スキップ]
[5秒 スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ]

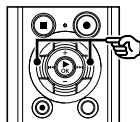
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[スキップ間隔] 画面に戻ります。

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

- ▶OK ボタンを押して設定を完了する
 - 再生中に ▶▶ または ◀◀ ボタンを押す
- 10 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

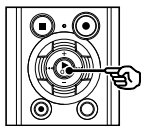
- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。



- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

- ▶OK ボタンを押して再生を開始する

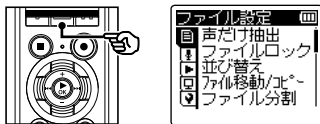


表示/音メニュー [表示/音設定]

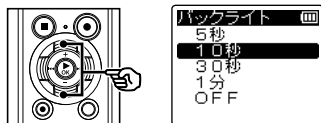
バックライトを設定する [バックライト]

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

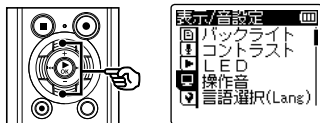
- 1** 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 5** **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



- 2** **+** または **-** ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

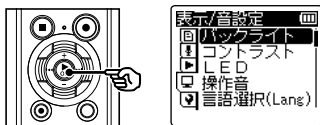


[5秒] [10秒] [30秒] [1分]:
バックライトの点灯時間を設定します。

[OFF]:
バックライトは点灯しません。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示/音設定] 画面に戻ります。

- 3** ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 6** ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

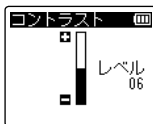
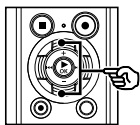
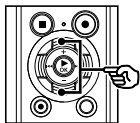
- 7** **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 4** ▶ **OK** ボタンを押す

コントラストを調整する [コントラスト]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [コントラスト] を選ぶ
- 5 ▶ **OK** ボタンを押す
- 6 + または - ボタンを押してレベルを調整する
- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する



- [01] から [12] の間で調整を行います。

LED 表示ランプを設定する [LED]

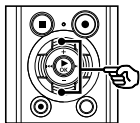
LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。

- 1 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

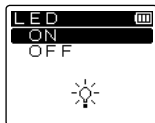
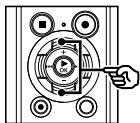
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [LED] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
LED 表示ランプが点灯します。

[OFF] :
LED 表示ランプは点灯しません。

• [LED] の設定を [OFF] にしても、パソコン間でのデータ転送中は点滅します。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示/音設定] 画面に戻ります。

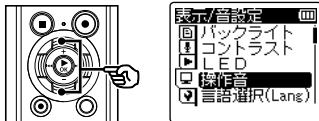
- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

操作音を設定する [操作音]

ボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときに操作音が鳴ります。操作音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [操作音] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定を変更する



[ON] :
操作音が機能します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
 - 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]

日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

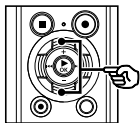
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [言語選択 (Lang)] を選ぶ
- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

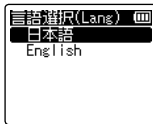
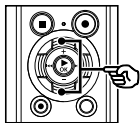
- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語は変わりません。

4

表示 / 音メニュー [表示 / 音設定]



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す
- 6 + または - ボタンを押して設定を変更する



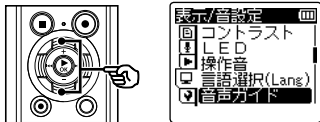
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

JP

音声ガイドを設定する [音声ガイド]

操作状況を音声でアナウンスする機能です。音声ガイドのオン・オフ、スピードおよび音量が設定できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [音声ガイド] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON/OFF]、[スピード] または [音量] を選ぶ



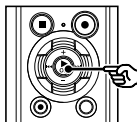
[ON/OFF] :
音声ガイドのオン・オフを切り替えます。

[スピード] :
音声ガイドのスピードを設定します。

[音量] :
音声ガイドの音量を設定します。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示/音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る



音声ガイドを設定する [音声ガイド]

[ON/OFF] を選んだ場合:

- ① +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ。



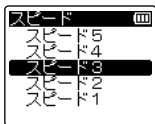
[ON]:
音声ガイドが機能します。

[OFF]:
音声ガイドは機能しません。

- ② ▶OK ボタンを押して [ON/OFF] 画面を終了する。

[スピード] を選んだ場合:

- ① +または-ボタンを押して音声ガイドのスピードを選ぶ。



[スピード 1] ~ [スピード 5]:
• 数値が大きいほどスピードが速くなります。

- ② ▶OK ボタンを押して [スピード] 画面を終了する。

[音量] を選んだ場合:

- ① +または-ボタンを押して音声ガイドの音量を選ぶ。



[音量 1] ~ [音量 5]:
• 数値が大きいほど音量が大きくなります。

- ② ▶OK ボタンを押して [音量] 画面を終了する。

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイル再生中は、[音声ガイド] の [スピード] 設定が無効になります (P.56)。

ファイルの先頭部分を数秒間再生する [イントロ再生]

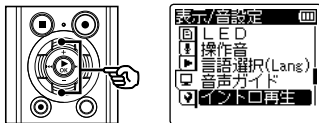
リスト表示画面でファイルを選択すると、ファイルの先頭部分を数秒間自動的に再生します。ファイルの内容を確認できるので、ファイルを検索するときに便利です。あらかじめ、先頭部分に録音する内容を記録しておく、あとで検索しやすくなります

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

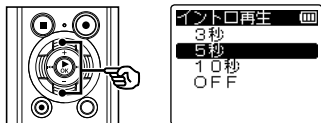
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [イントロ再生] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [3秒]、[5秒]、[10秒] または [OFF] を選ぶ



[3秒] [5秒] [10秒] :
ファイルの先頭部分を再生する時間を設定します。

[OFF] :
イントロ再生は機能しません。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示/音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]

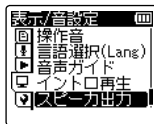
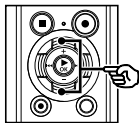
イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。
 [OFF] に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ません。
 バスや電車の中で安心です。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

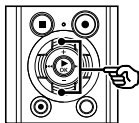
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [スピーカ出力] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :

イヤホン接続中はイヤホンから音が出され、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音が出されます。

[OFF] :

イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音が出されません。

7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



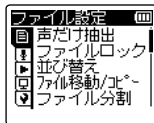
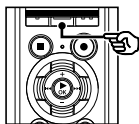
スピーカ出力停止表示 ([スピーカ出力] を [OFF] に設定すると表示されます)。

本体メニュー [本体設定]

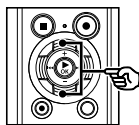
記録メディアを選択する [メモリ選択]

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます (P.32)。

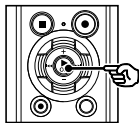
- 1** 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

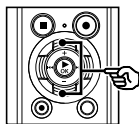


- 3** ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4** ▶ **OK** ボタンを押す

- 5** + または - ボタンを押して記録メディアを選ぶ



- 6** ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 7** **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



省電力モードを設定する [スリープ]

電源を入れて停止状態のまま設定した時間を経過すると、自動的にスリープ(省電力)モードに切り替わります。

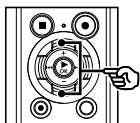
いずれかのボタンを押すとスリープモードは解除されます。

- 1** 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2** + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

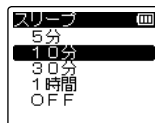
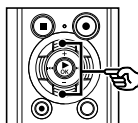
- 3** ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** + または - ボタンを押して [スリープ] を選ぶ



- 5** ▶ **OK** ボタンを押す

- 6** + または - ボタンを押して時間を設定する



- [5分] [10分] [30分] [1時間] :
お好みの時間を設定してください。
[OFF] :

省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

- 7** ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 8** **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

使用する電池を設定する [電池設定]

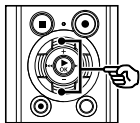
現在使用している電池に合わせて設定してください。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

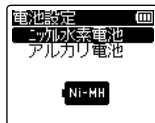
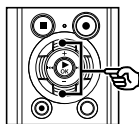
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して [電池設定] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して設定する



[ニッケル水素電池]：
オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の場合にお選びください。

[アルカリ電池]：
アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

使用中の電池の種類



- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押し続けると、設定アイコンが確認できます。

日付・時刻を合わせる [時計設定]

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

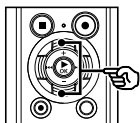
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [時計設定] を選ぶ

7 +または-ボタンを押して数字を変更する

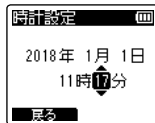
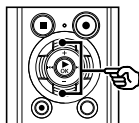
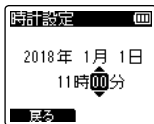
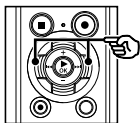
4

本体メニュー
「本体設定」



5 ▶OK ボタンを押す

6 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



- 他の項目を変更する場合は、▶▶I または I◀◀ ボタンで点滅を移動し、+ または-ボタンで数字を変更します。

ヒント

- 年、月、日の設定中、**F2** ボタンを押すたびに表示の順序が切り替わります。

例：2018年 3月 24日の場合

2018年 3月 24日
(初期値)

↓
3月 24日 2018年

↓
24日 3月 2018年

- 本機の時計表記は 24 時間制です。

日付・時刻を合わせる [時計設定]

- ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 電池を交換すると、自動的に [時計設定] 画面を表示します。
- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

Bluetooth® 機器を接続する [Bluetooth 設定]

本機は Bluetooth® Ver 2.1+EDR に対応しており、同規格に対応した機器が接続できます。

詳しくは「**Bluetooth® について**」
(P.143) をご覧ください。

USB 接続を設定する [USB 設定]

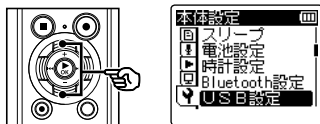
パソコンと接続してファイルの送受信などを行う [PC 接続] や USB 接続 AC アダプタ (A514) (別売) やパソコンと接続して充電を行う [AC アダプタ接続] の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

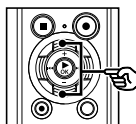
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [USB 設定] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して [USB 接続] または [USB クラス] を選ぶ



[USB 接続] :
パソコンと接続したときの設定をします。

[USB クラス] :
USB クラスの設定をします。

7 ▶ **OK** ボタンを押す

[USB 接続] を選んだ場合 :

☞ 手順 8 へ

[USB クラス] を選んだ場合 :

☞ 手順 10 へ

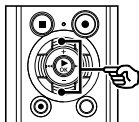
ヒント

- ・ パソコン側から本機が外部記憶装置として認識されない場合、[USB クラス] の設定を [ストレージ] に切り替えてください。
- ・ [USB 接続] の設定が [AC アダプタ接続] の場合、パソコンに接続しても認識されません。

USB 接続を設定する [USB 設定]

[USB 接続] を選んだ場合：

- 8 **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



[PC 接続]：

パソコンに接続するときの設定です。ストレージまたはコンポジットとして接続されます。

[AC アダプタ接続]：

パソコンから充電をしたり、AC アダプタ (A514) (別売) に接続するときの設定です。

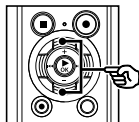
[毎回確認]：

USB 接続をするたびに接続方法を確認します。

- 9 **▶OK** ボタンを押して、手順 12 に進む

[USB クラス] を選んだ場合：

- 10 **+** または **-** ボタンを押して設定を選ぶ



[ストレージ]：

パソコン側から外部記憶装置として認識されます。

[コンポジット]：

パソコンと接続したときに本機を外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときに選びます。

- 11 **▶OK** ボタンを押して、手順 12 に進む

- 12 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

設定をリセットする [設定リセット]

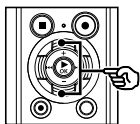
各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 6 **+** ボタンを押して **[開始]** を選ぶ

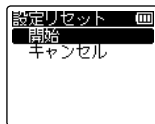
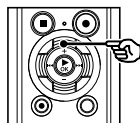
- 2 **+** または **-** ボタンを押して **[本体設定]** タブを選ぶ

- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 **+** または **-** ボタンを押して **[設定リセット]** を選ぶ



- 5 **▶OK** ボタンを押す



- 7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 設定リセット後の初期値は、「メニューの一覧」をご覧ください（P.68 ~ P.72）。

記録メディアを初期化する [初期化]

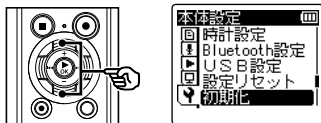
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください (※ P.156)。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [初期化] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ

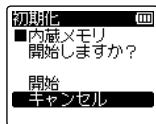
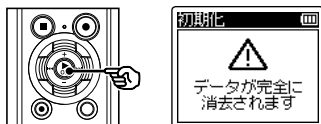


7 ▶ **OK** ボタンを押す

8 + ボタンを押して [開始] を選ぶ

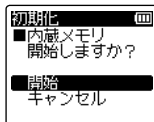
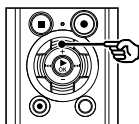


9 ▶ **OK** ボタンを押す

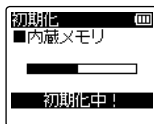
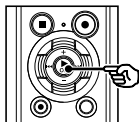


記録メディアを初期化する [初期化]

10 + ボタンを押してもう一度
[開始] を選ぶ



11 ▶ OK ボタンを押す



- [初期化中!] が表示され、初期化が開始されます。
- [初期化完了] が表示されたら初期化終了です。

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、[設定リセット] を行ってください (P.138)。

ご注意

- 本機をパソコンから 初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化 をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本機に microSD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのかを間違えないよう、必ず確認してください (P.131)。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 初期化中に USB 接続 AC アダプタを取り外す。
 - 初期化中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが [microSD カード] の場合、初期化中に microSD カードを取り外す。
- 初期化や消去 (P.64) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

記録メディアの情報を確認する [メモリ情報]

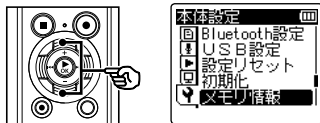
メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

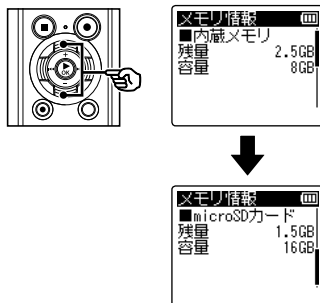
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 + または - ボタンを押して [メモリ情報] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して画面を切り替える



- 7 情報を確認したら、▶ **OK** ボタンを押して [メモリ情報] 画面から出る

- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本機の情報を確認する [システム情報]

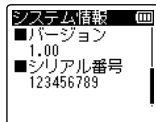
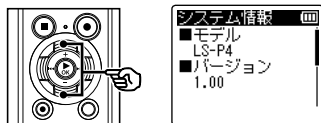
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 6 **+** または **-** ボタンを押して画面を切り替える

- 2 **+** または **-** ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 **+** または **-** ボタンを押して [システム情報] を選ぶ



- 5 **▶OK** ボタンを押す



- 7 情報を確認したら、**▶OK** ボタンを押して [システム情報] 画面から出る
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

Bluetooth® について

Bluetooth® 機能をご使用になる前に

本機は Bluetooth® Ver 2.1+EDR に対応しており、同規格に対応した機器が接続できません。

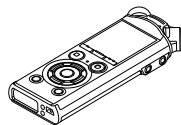
Bluetooth® 対応イヤホンを使用すると、接続コードのわずらわしさがなく電波の届く範囲内で自由に使用できます。

電波はある範囲内であれば障害物（木材・ガラス等）を通過して届くので、本機が隣の部屋などに置いてある場合でも、接続が可能になります。

スマートフォンでは専用のアプリケーションを使用すると、電波の届く範囲であれば離れた場所からでも本機を操作することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

Bluetooth® 機能でできること

- Bluetooth® 対応イヤホンなどの機器を無線で使用できる
 - スマートフォンを使って本機を操作できる*
- * 上記機能を使用するには、スマートフォン専用アプリケーションのインストールが必要です



ICレコーダー



スマートフォン

ご注意

- 本機は、日本の電波法に準拠し認証を受けた製品であり、日本以外ではご使用になれませんのでご注意ください。本機の無線機能を海外で使用するとご使用になる国の電波法に違反するおそれがあります。海外でのご使用については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Bluetooth® 接続の間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。
- 病院や飛行機の中など使用を禁止される場所では、本機の Bluetooth® 機能を使用しないでください。

5

Bluetooth®

機能をご使用になる前に

JP

Bluetooth® 機能をご使用になる前に

- 電子レンジやコードレス電話等、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近くで、これらの機器と本機を同時にご使用された場合、通信が途切れたり、通信速度が低下するなど、通信性能に影響を及ぼす場合があります。そのような機器から十分離してご使用ください。
- 携帯電話、テレビ、ラジオなどを、本機の近くではできるだけ使用しないでください。
 - 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオなどは、本機が使用する電波とは異なる周波数帯を使用していますが本機を含む Bluetooth® 製品が発する電磁波の影響で、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- Bluetooth® 機能の使用中は電池の消耗が早くなります。データ転送中に電池が切れるとデータが破損する場合があります。Bluetooth® 接続中は別売の AC アダプタのご使用をおすすめします。
- Bluetooth® 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- Bluetooth® 機能を使用した場合のデータ損失に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

5

Bluetooth® 機能をご使用になる前に

Bluetooth® 製品のご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- Bluetooth® 接続では、有線（ケーブル）を使わずに、スマートフォンと本機の間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能になります。しかし、電波はある範囲内であれば障害物（木材・ガラス等）を通過して届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し通信内容を盗み見られる。
 - 不正に侵入され個人情報などの情報が漏えいする。
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信される。
 - コンピューターウイルスなどを流されてデータやシステムを破壊される。
- Bluetooth® 機能を使っていないときは、接続を切ってください。
- Bluetooth® 接続の仕様上やむを得ない事情により、問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

JP

OLYMPUS Audio Controller BT について



スマートフォン用アプリケーション「OLYMPUS Audio Controller BT」は、お使いのスマートフォンで離れた場所から本機を操作する際に必要なアプリケーションです。

アプリケーションを入手するには

対応 OS (2017.9 現在)

- Android™ 用 : Android 4.0 ~ 7.1


下記の方法で入手できます。

1 スマートフォンでネットワークに接続する

2 アプリケーションを検索する

「Google Play™ (旧名称 Android マーケット™)」を使って「OLYMPUS Audio Controller BT」と入力して検索する

3 「OLYMPUS Audio Controller BT」を選び、ダウンロードおよびインストールする

- スマートフォンのメニューに  アイコンが追加されます。

アプリケーションでできること

お使いのスマートフォンにアプリケーションをインストールすると以下のことができます。

スマートフォンで本機を操作できます：

Bluetooth® 機能を使用して離れたところからでも本機を操作（録音／停止）できます。

ご注意

- アプリケーションについては、当社ホームページをご覧ください。
- 3G 等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

Bluetooth® 機器を接続する/切断する

Bluetooth® 機器を接続する

本機は Bluetooth® Ver 2.1+EDR に対応しており、同規格に対応した機器が接続できます。ワイヤレス接続により、一定の範囲内でヘッドホンなどの対応機器が自由に使用できます。

ご確認

- 電池残量が十分にあるか確認してください。必要に応じて充電するか新しい電池を入れてください (※ P.5、P.26)。
- Bluetooth® 表示アイコンが消灯していることを確認してください (※ P.23)。
- 接続する機器の電源を入れて、電池が十分にあるか確認してください。
- 本機と接続する機器を 1 m 以内に置いてください。

ヒント

- Bluetooth® 機器を接続する方法は以下の 2 種類があります。
[ペアリング] :
初めて使用する機器を接続する場合や過去に接続したときの設定が消えてしまった場合に使用します。
[機器接続] : (※ P.148)
すでに情報登録が済んでいる Bluetooth® 機器 * を接続する場合に使用します。
* ペアリング情報が双方で保存されている機器

[ペアリング] を使って接続する

初めて使用する機器を接続する場合や過去の接続設定が消えてしまった場合に使用します。

1 接続する機器側をペアリングモードにする

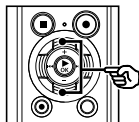
- ペアリングモードについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

2 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す

3 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

4 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

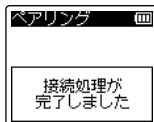
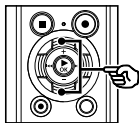
5 + または - ボタンを押して [Bluetooth 設定] を選ぶ



Bluetooth® 機器を接続する

6 ▶OK ボタンを押す

7 + または - ボタンを押して [ペアリング] を選ぶ

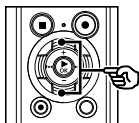


- [接続中!] と表示され、[接続処理が完了しました] と表示されたら接続完了です。
- 画面の Bluetooth® 表示が点灯し、接続機器が使用できるようになります。

8 ▶OK ボタンを押す

- 接続可能な Bluetooth® 機器の検索を行います。
- 接続する機器が表示されるまで時間がかかる場合があります。

9 + または - ボタンを押して 接続する機器を選ぶ



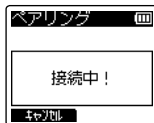
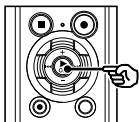
11 STOP (■) ボタンを押して メニュー画面を終了する

■ ペアリングについて

Bluetooth® 機器との接続において、機器同士を登録することを「ペアリング」といいます。一度ペアリングが済ませておくと必要情報が双方の機器に保存されて、以降は再びペアリングしなくてもリストから機器を選択して接続できるようになります。

以下の場合には再度ペアリングが必要です。

10 ▶OK ボタンを押す



- 接続する Bluetooth® 対応機器側で本機とのペアリング情報を削除したとき。
- 本機のメニュー [設定リセット] を行い、お買い上げ時の設定に戻したとき (※ P.138)。
- 上記以外で、ペアリング情報が削除されてしまったとき。

Bluetooth® 機器を接続する

【機器接続】を使って接続する

すでに情報登録が済んでいる Bluetooth® 機器* を接続する場合に使用します。

* ペ어링情報が双方で保存されている機器。

1 接続する機器側をペアリングモードにする

- ペ어링モードについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

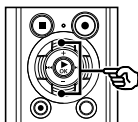
3 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

4 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

5 + または - ボタンを押して [Bluetooth 設定] を選ぶ

6 ▶ OK ボタンを押す

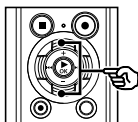
7 + または - ボタンを押して [機器接続] を選ぶ



8 ▶ OK ボタンを押す

- 今までに本機と接続した Bluetooth® 機器の名前がリスト表示されます。

9 + または - ボタンを押して接続する機器を選ぶ

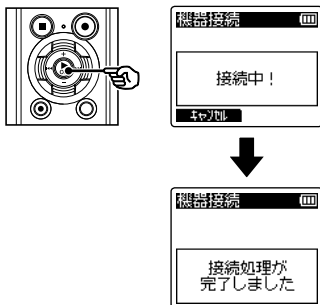


- ▶▶ ボタンを押すと、選択した Bluetooth® 機器の名前とアドレスが確認できます。◀◀ ボタンで前の画面に戻ります。



Bluetooth® 機器を接続する

10 ▶OK ボタンを押す



- [接続中!] と表示され、[接続処理が完了しました] と表示されたら接続完了です。
- 画面の Bluetooth® 表示が点灯し、接続機器が使用できるようになります。

11 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

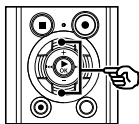
ご注意

- ペアリング処理中は、録音および再生などの操作はできません。
- 1 回のペアリング設定で接続できるのは 1 つの Bluetooth® 対応機器のみです。複数の機器とペアリングするには、機器ごとに接続の設定を行ってください。
- 同時に接続できる機器は、1 台のみです。
- Bluetooth® 機器とのペアリング完了後、電源を切るなどの操作を行うと Bluetooth® 接続が切断されます。再び接続するときは [機器接続] の操作をしてください。
- Bluetooth® 対応機器側で接続を切断すると、本機の Bluetooth® 機能が自動的にオフになります。
- 接続完了後、通信が不安定な状態になると、接続待機状態になる場合があります。
- 録音および再生中に接続待機状態になると録音および再生動作が中断されますので本機の状態を確認しながらご使用ください。
- 録音および再生中に Bluetooth® 機器から接続を切断すると録音および再生動作が停止します。

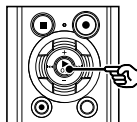
Bluetooth® 機器の接続を切断する

【機器切断】を使って切断する

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [Bluetooth 設定] を選ぶ
- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [機器切断] を選ぶ



7 ▶OK ボタンを押す



- [Bluetooth 終了中] と表示され、[Bluetooth を OFF にしました] と表示されたら完了です。
- 画面の Bluetooth® 表示が消灯します。

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5

Bluetooth®

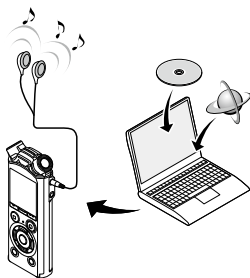
機器を接続する／切断する

JP

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンに取り込んだ MP3 やリニア PCM (WAV) 形式のファイルや、ハイレゾ配信サイトからダウンロードした FLAC 形式の音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出し



にもご活用いただけます (P.156)。

- イヤホンは別売になります。

パソコンの動作環境

本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。

Windows

OS (オペレーティングシステム) :

Microsoft® Windows® 7 / Microsoft® Windows® 8 - 8.1 /
Microsoft® Windows® 10

標準インストール

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

- 動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

Macintosh



OS (オペレーティングシステム) :

Mac OS X 10.8 ~ macOS Sierra 10.12 標準インストール

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

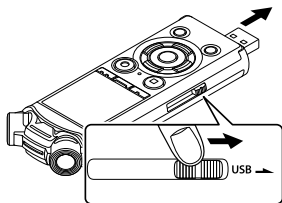
本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず  P.155 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外しないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の **[初期化]** メニューから行ってください（ P.139）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する／取り外す

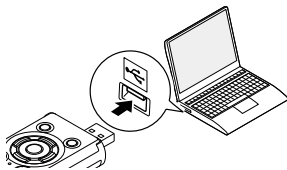
パソコンに接続する

- 1 パソコンを起動する
- 2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせる



- USB 端子を引き出します。USB 端子カバーは本機内に格納されます。

- 3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



ニッケル水素充電電池をご使用の場合：

- 充電する場合は、▶OK ボタンを押してください。充電しない場合は、▶OK 以外のボタンを押してください。

- USB 接続中は、本機のディスプレイに **[PC と接続中です]** と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、**[AC アダプタ接続]** を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を **[PC 接続]** にしてください (☞ P.136)。

ヒント

- Windows の場合、**[コンピューター]** を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、**[リムーバブルディスク]** として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されず、microSD カードが入っている場合は **[NO NAME]** と表示されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

6

パソコンから取り外す

Windows

- 1 画面右下のタスクバーの [] をクリックして、**[DIGITAL VOICE RECORDERの取り出し]** をクリックする



- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

- 1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する



- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ヒント

- 充電が途中の状態でも本機を取り外して使用できます。

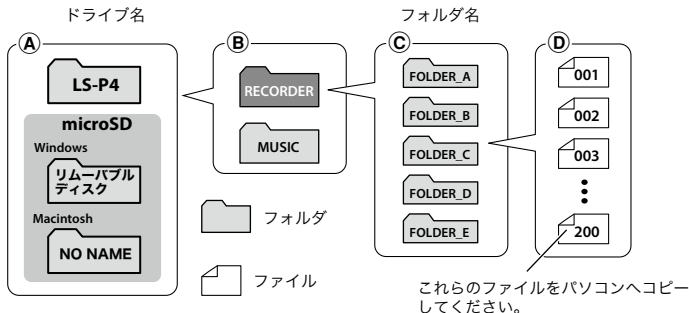
ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

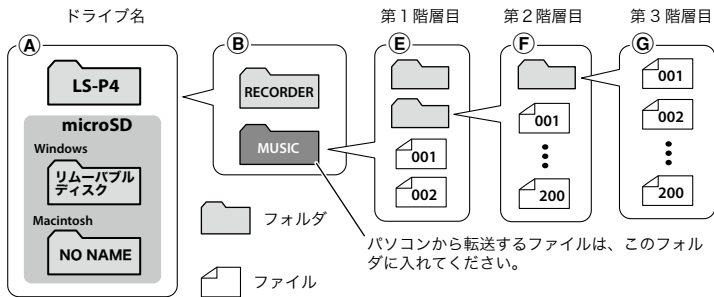
ファイルを転送する

パソコンに接続すると、本機データをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを外部メモリとして本機に保存できます。5つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ[FOLDER_A]、[FOLDER_B]、[FOLDER_C]、[FOLDER_D]、[FOLDER_E]という名前前で表示され(図C)、その中に録音した音声ファイルが保存されています(図D)。

内蔵マイクで録音したファイルをパソコンに転送する



音楽ファイルや語学学習ファイルを転送する



ファイルを転送する

ヒント

- 各フォルダに最大で 200 件ずつのファイルを収納できます。
- [ミュージック] フォルダには、[ミュージック] を含めて最大 400 フォルダまで作成できます。
- 本機では [ミュージック] フォルダの 3 階層目 (図 ㉔) のフォルダは認識できません。

Windows

- 1 本機をパソコンに接続する (図 P.153)
- 2 エクスプローラーを起動する
 - ・ [コンピューター] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- 3 製品名のフォルダをクリックする (図 ㉔)
- 4 データをコピーする
- 5 本機をパソコンから取り外す (図 P.155)

Macintosh

- 1 本機をパソコンに接続する (図 P.153)
 - ・ Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする (図 ㉔)
- 3 データをコピーする
- 4 本機をパソコンから取り外す (図 P.155)

ご注意

- ・ LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

活用のヒント

本機を上手にお使いいただくために、便利な使いかたをご紹介します。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

試し録りについて

録音の対象となる人との距離および音量、空間の広さ、空調機の付近での使用など…。「音の品質」は録音環境によって変わります。事前に雑音（ノイズ）を減らして希望どおりの音で録音できるかを確認するため、試し録りはとても有効です。

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机上のモノを動かしたときの音や振動、机の脚から伝わる足音などの雑音（ノイズ）は、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。



録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本機に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本機に触れないようにしてください。
- 空調の通風口やパソコンなど、ノイズの原因となっている対象から遠ざけてください。また【ローカットフィルタ】機能を使用すると、ノイズを軽減して録音できます (※ P.102)。
- 状況に応じた【録音レベル】を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、【中】または【低】でお試してください (※ P.94)。
- 状況に合わせた【録音シーン】を選ぶと、録音モードや録音レベルなど、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り替わります (※ P.45)。

■ 電池を長持ちさせたい

- ☞ 使用しないときはこまめに電源を切ってください (☞ P.35)。
- ☞ 再生時は内蔵スピーカではなく市販のイヤホンをお使いください (☞ P.55)。
- ☞ 以下の機能を使用すると電池の持続時間に影響を及ぼします。
 - ・ [ノイズキャンセル] (☞ P.111)
 - ・ 録音中の音声を聞く (☞ P.44)
 - ・ 再生スピードの変更 (☞ P.56)
 - ・ [ボイスバランサー] (☞ P.113)
 - ・ [ズームマイク] (☞ P.100)
 - ・ [声だけ抽出] (録音と同時に抽出) (☞ P.74)

■ メモリを節約したい

- ☞ [VCVA] 機能をお使いください (☞ P.104)。
録音中に一定の音量以下になると録音一時停止します。音量が一定以上になると自動的に録音を再開します。

■ 録音した内容が早い口調で聞き取れない 録音した内容を全部聞きたいが、時間を節約したい

- ☞ 再生スピードを変更してお使いください (☞ P.56)。
再生速度を通常の半分のスピードまで遅くしたり、3.5 倍のスピードまで早くして聞けます。

■ 大事なところ (位置) をあとでもう一度聞きたい

- ☞ インデックス (テンプ) マーク機能をお使いください (☞ P.60)。
録音中、再生中、停止中にインデックス (テンプ) マークを付けておくと、あらためて再生したときに早送りや早

戻し、頭出し機能を使ってインデックス (テンプ) マークを付けた場所をすぐに見つけられます。

■ この部分より前または後ろは必要ないから消したい

- ☞ [部分消去] 機能をお使いください (☞ P.85)。

■ 録音したファイルに雑音があり聞きにくい

- ☞ [ノイズキャンセル] 機能をお使いください (☞ P.111)。
雑音を抑え聞きやすくなる場合があります。

■ 遠くの音声をはっきり録音したい

- ☞ [ズームマイク] 機能をお使いください (☞ P.100)。
講義など特定方向からの音声に絞り込んで集音します。

■ 動作がいつもと違っている

- ☞ [設定リセット] 機能をお試しください (☞ P.138)。
各設定を初期 (工場出荷時) に戻します。時計設定や録音したファイルはそのまま保持します。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (P.5、P.26)。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっている ファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (P.77)。
これ以上記録できません (No more can be set)	ファイル内でインデックスマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください (P.61)。
	ファイル内でテンプレートを最大数 (99) まで使用している。	必要のないテンプレートを消去してください (P.61)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	フォルダ内のファイル件数が最大数 (200) になっている。	必要のないファイルを消去してください (P.64)。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (P.裏表紙)。
microSD カードに 異常があります (Card error)	microSD カードが正しく認識 されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください (P.32、P.33)。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (P.64)。
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (P.37)。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化してください (P.139)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを 消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and erase unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用の ファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください (P.55)。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (P.37)。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
同一フォルダには 移動（コピー）できません (Same folder can't be moved (copied))	同じフォルダに移動（コピー） しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できない ファイルがあります (Some files can't be moved (copied))	移動（コピー）先に同一ファイ ル名があった。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided)	本機で録音した MP3 形式、 WAV 形式以外のファイルを分 割しようとしている。	ファイルを選び直してください。
部分消去できないファイルです (Partial erase unacceptable)	本機で録音した WAV 形式以外 のファイルを部分消去しようと している。	ファイルを選び直してください。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の⊕と⊖を確かめてください (☞ P.5)。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.5、P.26)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.7)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.5、P.26)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.7)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (☞ P.34)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.64)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.37)。
再生音が聞こえない	イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	[スピーカ出力] の設定が [OFF] になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、[スピーカ出力] の設定を [ON] にしてください (☞ P.130)。
	音量が [00] になっている。	ボリュームを調節してください (☞ P.52)。
録音のレベルが小さい	録音レベルが低い。	録音レベルの設定を [高] または [中] にしてもう一度録音してください (☞ P.94)。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (☞ P.94)。
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (☞ P.94)。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整 (☞ P.94) をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルがステレオ録音されていない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、Lチャンネルのみに音声録音されます。
	【録音モード】の設定がモノラル録音形式である。	【録音モード】の設定をステレオ形式から選んでください (☞ P.98)。
	【ズームマイク】の設定が+側になっている。	【ズームマイク】の設定を【OFF】にしてください (☞ P.100)。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.37)。
再生時に雑音が入る	録音時に本機をこすったりした。	録音中はできるだけ本機に触れないようにしてください。
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
再生時、非音声部分がスキップされない	【声だけ抽出】の処理をしていない。	【声だけ抽出】を使って音声抽出してください (☞ P.74)。
	【声だけ再生】の設定が【OFF】になっている。	【声だけ再生】の設定を【ON】にしてください (☞ P.109)。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (☞ P.77)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください (☞ P.153)。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングを起こしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングを起こすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けられないなど調整をしてください。

7

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
オーバーダビング（多重録音）ができない	再生するファイルのフォーマットが「[PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono]」になっていない。	ファイルフォーマットが [PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono] のファイルを選んでください (※ P.37、P.52)。
	[録音モード] の設定が [PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono] になっていない。	[録音モード] の設定を、[PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono] に設定してください (※ P.98)。
インデックスマーク・テンプマークが付けられない	マーク件数が最大（99件）になっている。	必要のないマークは消去してください (※ P.61)。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (※ P.77)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	[電池設定] の設定が [アルカリ電池] になっている。	付属の充電電池をご使用の上、電池設定を [ニッケル水素電池] にしてください。また、充電電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください (※ P.5、P.8、P.30)。
	▶OK ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、▶OK ボタンを押してください。
	[USB クラス] の設定が [コンボジット] になっている。	[USB クラス] の設定を [ストレージ] にしてください (※ P.136)。
パソコン側から本機を認識できない	[USB 接続] の設定が [ACアダプタ接続] になっている。	[USB 接続] の設定を [PC 接続] にしてください (※ P.136)。
再生スピードが速い（遅い）ように感じる	再生スピードが変更されている。	再生スピードの設定を [x1.0 倍速] にしてください (※ P.56)。
動作がいつもと違う	機能の設定が変更されている。	[設定リセット] をお試しください。各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定や録音したファイルはそのまま保持します (※ P.138)。
Bluetooth® 機器と接続できない	接続する Bluetooth® 機器が接続可能な状態になっていない。	Bluetooth® 機器を接続可能な状態にして、もう一度設定してください (※ P.146)。
	本機との距離が離れているか、通信間に障害物がある。	本機の 1 m 以内に Bluetooth® 機器を置いてもう一度設定してください (※ P.146)。
	ペアリング情報が削除されている。	もう一度ペアリングの設定を行ってください (※ P.146)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth® 機器で再生中に本機から音量を変更ができない	本機では Bluetooth® 機器で再生する音量を変更できません。	お使いの Bluetooth® 機器で音量を変更をしてください。
Bluetooth® 機器から録音モニターができない	Bluetooth® 機器で録音中は、Bluetooth® 機器から録音モニターはできません。	本機から録音モニターが可能です (P.44)。

お手入れ

● 本機のお手入れ

本機が汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。

● ディスプレイ

柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

アクセサリ（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

広い会議室などの録音に適したローノイズ設計の全指向性マイクで、左右それぞれのマイクを最大約 5m 離れて録音できます。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

卓上ズームマイクロホン（単一指向性）：ME34

マイクスタンドと一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

バウンダリーマイクロホン：ME33

左右それぞれに最大 3 台ずつ接続可能な会議録音用マイクです。カスケード接続すれば左右合わせて最大約 12m まで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。

テレホンピックアップマイクロホン：TP8

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単 4 形ニッケル水素充電電池：BR404

持続性に優れた高性能充電電池です。

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。(AC100-240V 50/60Hz)

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ(φ 3.5)の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ(φ 2.5)への変換プラグアダプタ(PA331/PA231)も同梱しています。

ユーティリティソフトウェア：

Olympus Sonority Plus

IC レコーダーで録音した音声パソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャストにも対応しています。

スタンドクリップ：CL4

IC レコーダー本体をクリップで固定できます。また、台の上などに置くときのスタンドとして使用できます。

キャリングケース：CS150

ウィンドシールド：WJ2

風切音などの低い周波数成分を低減します。

7

アクセサリ（別売）

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

7

接続ケーブル、AC アダプタは、必ず当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft と Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- Macintosh は米国アップル社の商標です。
- NTT エレクトロニクス株式会社からのライセンスに基づく音声区間検出技術を利用して製品化されています。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、オリンパス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

JP



電波に関するご注意



警告

- **病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る**
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- **心臓ペースメーカーを装着している方から 22cm 以上離す**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- **航空機内では電源を切る**
運行の安全に支障をきたすおそれがあります。

機器認定について:

本製品は、電波法に基づく工事設計認証（認可番号：007-AD0103）を受けた特定無線設備を内蔵しています。

次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この製品の内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。これらの条件を下記に示します。

libFLAC - Free Lossless Audio Codec library
Copyright © 2000-2009 Josh Coalson
Copyright © 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が死亡または重傷を負う差
し迫った危険の発生が想定される」内容
を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が死亡または重傷を負う可能性
が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをする
と、人が傷害を負う可能性が想定され
る内容および物的損害のみの発生が想
定される」内容を示します。

本機について

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。
引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。
感電、けがをするおそれがあります。
- 車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
 - － 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
 - － 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- 異臭、異常音、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
 - ① けが、やけどをしないよう注意しながら電池およびUSB電源を抜いてください。放置すると火災ややけどの原因となります。
 - ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。

●USB 電源は改造したものや自動車のシガレットライターの差し込み口は絶対に使用しないでください。発熱、発火、感電、故障の原因となります。

●microSD / microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れしないでください。

その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

●水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

- ①速やかに電池を抜いてください。
- ②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

●航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

●異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

●本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。

⚠ 注意

- 操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

- 火気のある場所に電池を置かないでください。
- 火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。
火災、破裂、発火、発熱の原因となります。
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
- ⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。
発熱、感電、火災の原因となります。
- 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。
発熱、感電、火災の原因となります。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

 **警告**

- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。

感電や故障の原因となります。

- 外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。

破裂や発熱の原因となります。

- 電池の極性(⊕と⊖)を逆にしないでください。

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール(絶縁被覆)の破れた電池を使わないでください。

- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。

- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。

- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

- 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

- 充電できないアルカリ乾電池、リチウム乾電池などを充電しないでください。

- 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

 **注意**

- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

- 充電電池をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

- 指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「電池について」(P.30)に従って廃棄してください。

- 充電電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。



使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 録音中や再生中に IC レコーダーを電灯線・蛍光灯・携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリや microSD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- また、内蔵メモリや microSD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機や microSD カードの廃棄に関する注意事項＞

- 初期化 (P.139) や消去 (P.64) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。
- 廃棄する際は、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。

主な仕様

一般事項

■ 記録形式：

リニア PCM 形式
FLAC 形式
MP3 形式

■ 規定入力レベル：

- 60 dBv

■ サンプリング周波数：

リニア PCM 形式 / FLAC 形式

96.0 kHz/24 bit	96.0 kHz
88.2 kHz/24 bit	88.2 kHz
48.0 kHz/24 bit	48.0 kHz
48.0 kHz/16 bit	48.0 kHz
44.1 kHz/24 bit	44.1 kHz
44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz
44.1 kHz mono	44.1 kHz

MP3 形式

320 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz
64 kbps mono	44.1 kHz

■ ヘッドホン最大出力：

3 mW + 3 mW (16 Ω 負荷時)

■ 記録メディア*：

内蔵型 NAND FLASH メモリ：8 GB
microSD カード
(2 GB ~ 32 GB に対応)

* メモリ容量の一部を管理領域として
使用しているため、実際に使用でき
る容量は少なくなります。

■ Bluetooth® 仕様：

通信方式：Bluetooth® Ver.2.1+EDR
出力：Class 2

最大通信距離：見通し距離 約 10 m*

使用周波数帯域：2.4 ~ 2.4835 GHz

変調方式：FHSS

対応プロファイル：

A2DP (Advanced Audio Distribution
Profile)

AVRCP (Audio/Video Remote
Control Profile)

HSP (Headset Profile)

HFP (Handsfree Profile)

SPP (Serial Port Profile)

* 通信距離はめやすです。通信距離は
周囲の環境によって変化する場合は
あります。

■ スピーカ：

φ 18 mm 丸型ダイナミックスピーカ
内蔵

■ マイクジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 2 k Ω

■ イヤホンジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω 以上

■ スピーカ実用最大出力：

150 mW (スピーカ 8 Ω)

■ 電源：

規定電圧：1.5 V

電池：単 4 形乾電池 1 本 (LR03)
またはオリンパス製ニッケル水素充
電池 1 本 (本体内充電はオリンパス製
BR404 を使用のこと)

外部電源：USB 接続 AC アダプタ
(A514) (DC5V)

主な仕様

- 外形寸法：
108.9 mm × 39.6 mm × 14.4 mm
(最大突起部含まず)
- 質量：
75 g (電池含む)
- 使用温度：
0 ~ 42°C
- 同梱品：
本体 / 単 4 形ニッケル水素充電電池 × 1
/ 三脚アダプタ / 取扱説明書 (保証書付)
- 内蔵ステレオマイク録音時：
20 Hz ~ 20 kHz (センターマイク ON)
60 Hz ~ 20 kHz (センターマイク OFF)
(但し、MP3 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる)
- 再生時：
20 Hz ~ 44 kHz
(但し、周波数特性の上限値・下限値は各録音フォーマットによる)

周波数特性

- マイクジャック録音時：
リニア PCM 形式 / FLAC 形式

96.0 kHz/24 bit	20 Hz ~ 44 kHz
88.2 kHz/24 bit	20 Hz ~ 42 kHz
48.0 kHz/24 bit	20 Hz ~ 23 kHz
48.0 kHz/16 bit	20 Hz ~ 23 kHz
44.1 kHz/24 bit	20 Hz ~ 21 kHz
44.1 kHz/16 bit	20 Hz ~ 21 kHz
44.1 kHz mono	20 Hz ~ 21 kHz

MP3 形式

320 kbps	20 Hz ~ 21 kHz
128 kbps	20 Hz ~ 17 kHz
64 kbps mono	20 Hz ~ 13 kHz

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	96.0 kHz/24 bit	約 16 時間	約 13 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 17 時間	約 14 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 24 時間	約 17 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 26 時間	約 20 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 25 時間	約 17 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 28 時間	約 21 時間
FLAC 形式	44.1 kHz mono	約 32 時間	約 24 時間
	96.0 kHz/24 bit	約 11 時間	約 9 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 12 時間	約 11 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 13 時間	約 12 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 15 時間	約 14 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 18 時間	約 15 時間
MP3 形式	44.1 kHz/16 bit	約 19 時間	約 16 時間
	44.1 kHz mono	約 21 時間	約 18 時間
	320 kbps	約 31 時間	約 22 時間
	128 kbps	約 35 時間	約 25 時間
	64 kbps mono	約 39 時間	約 28 時間

■ 音声ファイル再生時（全再生モード）：

スピーカ再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	96.0 kHz/24 bit	約 11 時間	約 10 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 11 時間	約 10 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 12 時間	約 11 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 13 時間	約 11 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 13 時間	約 11 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 13 時間	約 11 時間
FLAC 形式	44.1 kHz mono	約 13 時間	約 11 時間
	96.0 kHz/24 bit	約 8 時間	約 7 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 9 時間	約 8 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 12 時間	約 10 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 12 時間	約 11 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 12 時間	約 11 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 12 時間	約 11 時間
	44.1 kHz mono	約 12 時間	約 11 時間

主な仕様

MP3 形式	320 kbps	約 13 時間	約 11 時間
	128 kbps	約 13 時間	約 11 時間
	64 kbps mono	約 13 時間	約 11 時間

イヤホン再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	96.0 kHz/24 bit	約 17 時間	約 14 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 18 時間	約 15 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 26 時間	約 20 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 26 時間	約 20 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 28 時間	約 21 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 28 時間	約 21 時間
	44.1 kHz mono	約 31 時間	約 22 時間
FLAC 形式	96.0 kHz/24 bit	約 16 時間	約 12 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 16 時間	約 12 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 25 時間	約 19 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 28 時間	約 20 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 30 時間	約 21 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 31 時間	約 22 時間
MP3 形式	320 kbps	約 30 時間	約 22 時間
	128 kbps	約 30 時間	約 22 時間
	64 kbps mono	約 31 時間	約 22 時間

7

主な仕様

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです（[マイク選択] の設定：[センターマイク OFF]、[LED] の設定：[OFF]）。使用電池、使用条件により大きく変わります（特にズームマイク、ノイズキャンセラー、ボイスバランサー、Bluetooth® 設定、再生スピード変更等の機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池では電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード		
		32 GB	16 GB	8 GB
96.0 kHz/24 bit	約 3 時間 30 分	約 14 時間 30 分	約 7 時間 15 分	約 3 時間 30 分
88.2 kHz/24 bit	約 3 時間 45 分	約 16 時間	約 7 時間 45 分	約 3 時間 45 分
48.0 kHz/24 bit	約 7 時間	約 29 時間	約 14 時間 30 分	約 7 時間 15 分
48.0 kHz/16 bit	約 10 時間 30 分	約 44 時間	約 22 時間	約 11 時間
44.1 kHz/24 bit	約 7 時間 30 分	約 32 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 45 分
44.1 kHz/16 bit	約 11 時間	約 48 時間	約 23 時間 30 分	約 11 時間 30 分
44.1 kHz mono	約 22 時間 30 分	約 96 時間	約 47 時間 30 分	約 23 時間 30 分

■ FLAC 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード		
		32 GB	16 GB	8 GB
96.0 kHz/24 bit	約 5 時間	約 21 時間	約 10 時間	約 5 時間
88.2 kHz/24 bit	約 5 時間 15 分	約 22 時間 30 分	約 11 時間	約 5 時間 30 分
48.0 kHz/24 bit	約 10 時間	約 42 時間	約 20 時間 30 分	約 10 時間
48.0 kHz/16 bit	約 15 時間	約 63 時間	約 31 時間	約 15 時間 30 分
44.1 kHz/24 bit	約 10 時間 30 分	約 45 時間 30 分	約 22 時間 30 分	約 11 時間
44.1 kHz/16 bit	約 16 時間	約 68 時間	約 34 時間	約 17 時間
44.1 kHz mono	約 32 時間 30 分	約 137 時間	約 68 時間	約 34 時間

■ MP3 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード		
		32 GB	16 GB	8 GB
320 kbps	約 50 時間	約 212 時間	約 105 時間	約 52 時間
128 kbps	約 126 時間	約 530 時間	約 264 時間	約 132 時間
64 kbps mono	約 253 時間	約 1060 時間	約 525 時間	約 264 時間

ご注意

- ・ 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ・ ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることもあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、リニア PCM 形式 (WAV) は約 2GB、FLAC・MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
96.0 kHz/24 bit	約 1 時間
88.2 kHz/24 bit	約 1 時間
48.0 kHz/24 bit	約 2 時間
48.0 kHz/16 bit	約 3 時間
44.1 kHz/24 bit	約 2 時間
44.1 kHz/16 bit	約 3 時間 20 分
44.1 kHz mono	約 6 時間 40 分

■ FLAC 形式：

録音モード	録音時間
96.0 kHz/24 bit	約 2 時間 50 分
88.2 kHz/24 bit	約 3 時間 10 分
48.0 kHz/24 bit	約 5 時間 50 分
48.0 kHz/16 bit	約 8 時間 50 分
44.1 kHz/24 bit	約 6 時間 20 分
44.1 kHz/16 bit	約 9 時間 30 分
44.1 kHz mono	約 19 時間 10 分

■ MP3 形式：

録音モード	録音時間
320 kbps	約 29 時間 40 分
128 kbps	約 74 時間 30 分
64 kbps mono	約 149 時間

記録可能な曲数

以下の値はあくまでめやすです。

内蔵メモリ (8GB)	約 1850 曲
-------------	----------

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

- ▶OK ボタン8, 14, 21, 26, 52, 56
- + ボタン8, 14, 21, 37, 52, 66
- ▶▶|◀◀ ボタン9, 21, 37, 53

アルファベット

A

- ABC リピート57

B

- Bluetooth® 143
- Bluetooth 設定 135, 146

E

- ERASE ボタン 15, 21, 61, 64, 65

F

- F1 ボタン21, 36, 57
- F2 ボタン 21, 37, 49, 59, 60, 82
- FLAC 55, 98

L

- LED [LED] 124
- LED 表示ランプ 21, 124, 155
- LIST ボタン 21, 37

M

- MENU/SCENE ボタン21, 45, 66
- microSD カード32
- MP3 55, 98

O

- OLYMPUS Audio Controller BT ... 145

P

- PEAK 表示ランプ12, 21, 41
- POWER/HOLD スイッチ7, 21, 34, 35

R

- REC (●) ボタン12, 21, 40

S

- STOP (■) ボタン ... 12, 21, 41, 49, 52, 67

U

- USB 接続 AC アダプタ28
- USB 設定 136
- USB 端子 22, 26, 28, 153
- USB 端子カバー 22, 26
- USB 端子スライドレバー 21, 26, 153

W

- WAV 55, 98

かな

あ

- アタッチメント取り付け穴22, 38

い

- イコライザー 118
- イヤホンジャック 44, 48, 51, 55
- インデックスマーク60
- イントロ再生 129

お

- オーバーダビング48
- 音楽ファイル55, 156
- 音声ガイド 11, 127
- 音声起動レベル 105
- 音声起動録音 (VCVA) 104
- 音声同期レベル 108
- 音声同期録音 107

か

- カードスロット22, 32
- 外部マイク50
- 外部メモリ 156
- [カレンダー検索] モード36, 63

け

言語選択..... 126

こ

声だけ再生..... 109

声だけ抽出..... 74

コネクティングコード..... 51

コントラスト..... 123

さ

再生スピード..... 56

再生設定..... 109

再生モード..... 115

し

システム情報..... 142

充電..... 26, 28, 30

初期化..... 139

シリアルナンバー..... 5

す

ズームマイク..... 100

スキップ間隔..... 120

ストラップ取り付け部..... 22

スピーカ出力..... 130

スリーブ..... 132

せ

設定リセット..... 138

そ

操作音..... 125

て

ディスプレイ..... 21, 23

電池 / カードカバー..... 5, 22, 32

電池 / カードカバーロックボタン

..... 5, 22, 32

電池設定..... 8, 133

電池表示..... 23, 30

テンプマーク..... 60

と

動作環境..... 151

時計設定..... 9, 134

トリミング..... 87

な

内蔵ステレオマイク..... 12, 21, 40

内蔵スピーカ..... 22, 130

内蔵センターマイク..... 21, 103

並び替え..... 78

の

ノーマライズ..... 89

ノイズキャンセル..... 111

は

バックライト..... 122

ひ

表示 / 音設定..... 122

ふ

ファイル..... 37, 156

ファイル移動 / コピー..... 80

ファイル消去..... 15, 64

ファイル設定..... 74

ファイル表示..... 23, 24

ファイル分割..... 83

ファイルリスト表示..... 23

ファイルロック..... 77

フェードイン・アウト..... 91

フォルダ..... 37, 156

フォルダリスト表示..... 23

部分消去..... 85

フロパティ..... 92

ほ

[ホーム] 画面..... 36

ボイスバランサー..... 113

本体設定..... 131

ま

マイクジャック	22, 50
マイク選択	103

み

[ミュージック] モード	24, 36
--------------------	--------

め

メニュー設定	66
メモリ情報	141
メモリ選択	131

り

リスト表示	24
リミッター	96

れ

[レコーダー] モード	23, 36
-------------------	--------

ろ

ローカットフィルタ	102
録音シーン	45
録音設定	94
録音表示ランプ	12, 40
録音モード	98
録音レベル	94

ファームアップによる追加・変更

IC レコーダーのファームウェアのアップデートにより、以下の機能が追加・変更されます。

■ ファームウェア Ver1.10 の追加・変更機能

録音に関するメニューの追加	☞ P.184
ムービーと同期をとるための基準となる音を記録する [スレートトーン]	☞ P.185
カメラに入力される本機の音声レベルを調整する [テストトーン]	☞ P.188

■ ファームウェア Ver1.20 の追加・変更機能

録音に関するメニューの追加	☞ P.190
おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]	☞ P.190

ファームウェア Ver1.10 の追加・変更機能

お使いのデジタルカメラでムービー撮影する際に本機を外部マイクとして使用すると、カメラの内蔵マイクよりも高音質で収音できます。

録音に関するメニューの追加

録音に関するメニュー (☞ P.69) に以下の機能が追加されます。

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
録音設定 [Rec Menu]	スレートトーン [Slate Tone] ☞ P.185	スレートトーン (ムービー撮影中の基準となる音) を出力して記録します。 [ON] [OFF]
	テストトーン [Test Tone] ☞ P.188	設定したボリュームでテストトーン (ボリューム調整用の音) を出力します。 [00] ~ [30]



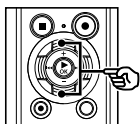
選択肢欄の 表記は初期設定です

ムービーと同期をとるための基準となる音を記録する [スレートトーン]

基準となる音（スレートトーン）を記録しておくことで、本機で収録した音声とカメラで撮影したムービーの音声を差し替える際に同期をとりやすくなります（※ P.187）。

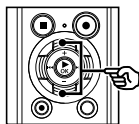
[スレートトーン] を [ON] に
設定する

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 **+ または -** ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 **+ または -** ボタンを押して [スレートトーン] を選ぶ



- 5 **▶OK** ボタンを押す

- 6 **+ または -** ボタンを押して [ON] を選ぶ




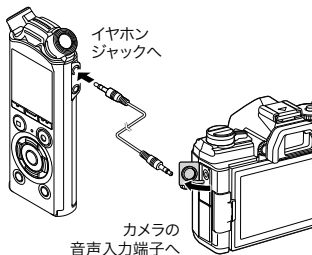
- 7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する



ご注意

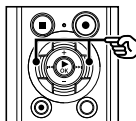
- [スレートトーン] 機能を [ON] に設定すると、以下の機能は [OFF] に変更されます。
 - [VCVA] (※ P.104)
 - [音声同期録音] (※ P.107)

スレートトーンを記録してムービーを撮影する

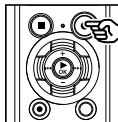
- 1 カメラの音声入力端子と本機のイヤホンジャック（) を接続する（[P.51](#)）



- 3  または  ボタンを押して録音レベルを調整する



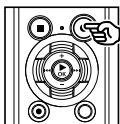
- 4 もう一度 **REC (●)** ボタンを押す



- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイに **[● 録音中]** が点灯します。

8

- 2 **REC (●)** ボタンを押して録音の準備をする



- 5 カメラのムービー撮影を開始する

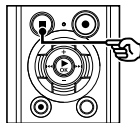
- ムービーの撮影方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

6 本機の F1（スレートトーン）ボタンを押す

- 基準音（ピーブ音）が録音されます。



8 **STOP** (■) ボタンを押して録音を停止する



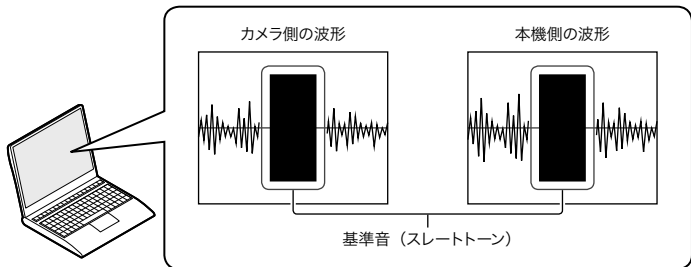
7 カメラのムービー撮影を終了する

ご注意

- スレートトーンは、ムービーファイルと音声ファイルへ記録されません。
- 撮影中にカメラと本機の内蔵スピーカーからは出力されません。

ヒント

- Olympus Workspace を使ってムービーファイルの音声と本機で録音した音声ファイルを差し替えるとき、基準音の波形を目印にするとムービーと音声の同期がとりやすくなります。ソフトウェアのダウンロードについては以下をご覧ください。
<https://support.olympus-imaging.com/owdownload/>
- 市販のソフトウェアを使用することもできます。編集方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



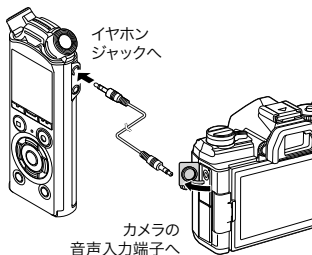
カメラに入力される本機の音声レベルを調整する [テストトーン]

ムービー撮影時のカメラの録音レベルを最適にするため、事前にボリューム調整用の音（テストトーン）で調整することにより音割れなどを避けることができます。

ファームウェアによる追加・変更

8

- 1 カメラの音声入力端子と本機のイヤホンジャック (🎧) を接続する (P.51)

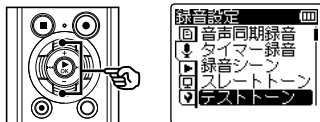


- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 3 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

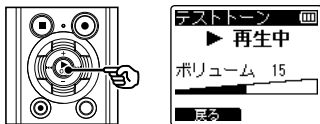
- 4 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 5 + または - ボタンを押して [テストトーン] を選ぶ



- 6 ▶ **OK** ボタンを押す

- 7 もう一度 ▶ **OK** ボタンを押してテストトーンを出力する



- 8** +または-ボタンを押して
ボリュームを設定する



- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなるとボリュームが上がります。
- ボリュームを上げすぎると、警告画面が表示される場合があります。

- 9** **STOP (■)** ボタンを押して
テストトーンを停止する



- 10** **F1 (戻る)** ボタンを押して
メニュー画面に戻る

- 11** **STOP (■)** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- テストトーンのパフォーマンスは再生音量 (P.52) に連動します。
- カメラと本機の内蔵スピーカからは出力されません。

ヒント

- 本機のボリュームを最大に設定して、カメラ側の録音レベルを調整することでノイズの少ない録音ができます。

ファームウェア Ver1.20 の追加・変更機能

録音に関するメニューの追加

録音に関するメニュー（※ P.69）に以下の機能が追加されます。








設定タブ	設定項目	選択肢/内容
録音設定 [Rec Menu]	録音シーン [Rec Scene] ※ P.45	[講義][会議][商談][口述][口述(騒音下)] [文字起こし][音楽][OFF]

❗ 選択肢欄の 表記は初期設定です

おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]

録音シーンの選びかた

本機には講義や口述など録音するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

[講義]		場所が広く話し手が速く離れている場合など、マイクを向けた特定方向への録音に適しています。
[会議]		広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[商談]		小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。
[口述]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
[口述 (騒音下)]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。周囲の雑音気がなるときに、ノイズを抑えて録音します。
[文字起こし]		録音した音声から、音声を文字に変換するソフトウェアを利用して文字起こしを行う場合に適しています。会議など複数の人が発言する場合の録音に適しています。
[音楽]		楽器演奏や野外録音など、臨場感のある録音をしたときに適しています。

録音シーンに登録されている設定
内容

【文字起こし】：

【録音レベル】	【オート】
【録音モード】	【PCM 44.1kHz mono】
【ズームマイク】	【OFF】
【ローカットフィルタ】	【ON】
【マイク選択】	【センターマイク OFF】
【VCVA】	【OFF】
【音声同期録音】	【OFF】

ご注意

- 【文字起こし】の精度は、録音環境や、音声文字変換ソフトウェア、サービスの性能によります。レコーダーから離れた人の声は、不明瞭になりやすいため音声文字変換の精度が低下します。

ヒント

- 【文字起こし】の精度を上げるには、以下のような方法があります。
 - 振動を軽減するため、レコーダーとテーブルの間にハンカチなどを敷く。
 - 試し録りを行い、できるだけ発言者全員の声が明瞭に録音できる位置にレコーダーを置く。
 - 複数の人が同時に発言するのを避ける。
 - エアコンやプロジェクターなどの近くにレコーダーを置かない。
 - 音が反響する場所での録音を避ける。
 - 室外のノイズが大きい場合はドアや窓を閉める。

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

<https://olympus-imaging.jp/>

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



0570-073-000

* 携帯電話・PHS からのご利用になれます。

FAX 042-642-7486

* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 10:00～18:00

* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。